				シフ	/\ <u></u>	^	Γ	
科目名	3	演劇リテラシー I		担	当有	者 名	牛房 やよい	
学 科		声優•演劇科		å	授業力	方法	講義	
認定単		2単位	開講期				授業時間数	36時間
開講学	年	1学年	必・選	必修				
授業目	的	未来・社会を生きてい	ハくスキルをつける		でのマナー、コミュニケーション力、メンタル力を強化する。			
授業目 (ラーニ アウトカノ	ング	進路に関わる知識・		ニュースや			ション力、メンタル力を強 持ち積極的に考える事、	
授業概	死要	<ul><li>日々の連絡事項の</li></ul>	ムルーム E(メーク・服装・言葉遣い 伝達 ・面談を行い、 の伝達 ・進路相談	個人ゞのサ		-V2881 - Z 0	~	
			授業内容	• [	題(ア	ーマ)に関しての	ディスカッション 授業内容	
	1	自己紹介 学科オリエン			19	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	2	面談 学科オリエンテー	-ション		20	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	3	面談、課題発表			21	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	4	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			22	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題		
	5	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			23	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	6	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			24	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	7	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			25	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
授	8	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			26	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
業計	9	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	27	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
画表	10	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	28	28 情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題		
	11	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	29	29 情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題		
	12	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	30	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	13	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	31	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	14	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	32	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	15	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	33	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	16	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	34	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	17	情報共有、テーマディス	スカッション、リアルタイム記	果題	35	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題
	18	前期まとめと後期につい	ハて		36	まとめ		
		テスト		30%	学	習FB方法	※学生個々にあわせ	<del></del>
成績害		学習態度•出席率	ž.	60%			,	-
/ 人/ 順音	4П	レポート		10%		<b></b> 龙績評価	出席率:80% S[00~100点] A[80~80	
		合計 100%			).	以7項 FT	S[90~100点] A[80~89 ~69点] D[59点以下は2	9点] B[70~79点] C[60 下合格]
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》40% R《実働実践型学習》20% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%			型学習≫10%					
講師フィー			い プロダクションでの活 企画時に制作として携				斤にて公演活動を続けな	がら、1991年教員とし

	シラバス							
科目名	5	コミュニケーション	演習 I	担	当者	省 名	牛房 やよい、嶋 愛萌	i 
学 科		声優•演劇科		ā	授業プ	方法	実習	
認定単開講学		1単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	36時間
授業目	的	コミュニケーション能 自己プロデュース能						l
授業 E (ラーニ アウトカノ	ング		に必要なコミュニケーシ な自己プロデュース能					
授業概	既要		PR活動や配信スキルに スカッションを行い、相		句上を	目指す		
			授業内容				授業内容	
	1	自己紹介			19	後期取組に関し	てのミーティング及び目標	设定
	2	SNSの基礎理解、活用	法		20	取組⑯		
	3 取組①			21	取組⑰			
	4	取組②			22	取組図		
	5	取組③			23	取組⑨		
	6	取組④			24	取組20		
	7	取組⑤			25	取組②		
授	8	取組⑥			26	取組②		
業計	9	取組⑦			27	取組②		
画表	10	取組⑧			28	取組御		
	11	取組⑨			29	取組②		
	12	取組⑩			30	取組26		
	13	取組⑪			31	取組②		
	14	取組②			32	取組器		
	15	取組③			33	取組29		
	16	取組④			34	取組30		
	17	取組⑮			35	後期取組まとめて	プレゼンテーション	
	18	前期取組まとめプレゼ、	ノテーション		36	一年を通しての	総括	
		テスト		10%	عدر	AV+ CO EE		f)ァムムルマケミ
成績害		学習態度·出席率	₹	60%	子	習FB方法	都度、個人、グルーフ	(に言わせ (打)
以順舌	4 🗖	レポート		30%	F	龙績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60
成績評価     S[90~100点] A[80~89点] B[70~7       合計     100%								
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》40% G《海外体感型学習》10%					学習≫10%			
講師フィー			こ本校演劇・声優科卒業 アミューズメント業務に 科にて講師契約					

科目名	Ż	演技基礎		シフ担	上当者		大塚 規子		
学 科	ļ-	声優•演劇科		1	授業ス	 方法	実習		
認定単		2単位	開講期				授業時間数	72時間	
開講学 授業目			 				 	アクセント』等の 修 得	
授業 F (ラーニ アウトカム	ング	・基礎訓練により現場	易 で の対応力をつけ、 を高め、マルチに活躍			-			
授業概	既要		<ul><li>ぐ、ナレーション、朗読</li><li>動きをつけるもの・声た</li></ul>		リティー	- 、			
			授業内容				授業内容		
	1	初日オーディション、授 ム	業の流れの説明、集中に	力を養うゲー	19	前期終了時の状	沈(力量) により後期の	内容を 決める	
	2	発声・滑舌・口形・音を	と楽しむ、セリフ(短い台	本)	20	前期終了時の状	前期終了時の状況(力量) により後期の内容を決める		
	3	滑舌、音を楽しむ(毎追 濁音	』)、プロミネンス( ニュー	ス原稿)、鼻	21	前期終了時の状	祝(力量) により後期の	内容を 決める	
	4	ポーズ( 一人セリフ )、母音の無声 化			22	前期終了時の状況(力量) により後期の内容を決める			
	5	台本、二重母音			23	前期終了時の状	六況(力量) により後期の[	内容を 決める	
	6	フリートーク(ラジオの パーソナリティー)			24	前期終了時の状	汁沢(力量) により後期の	内容を 決める	
	7	ナレーション(ストレートナレーションとキャラクターナレーション)			25	前期終了時の状	六況(力量) により後期の[	内容を 決める	
授	8	詩の朗読			26	前期終了時の状	汁況(力量) により後期の	内容を 決める	
業計	9	オーディション練習、自己 PR について			27	前期終了時の状	汁況(力量) により後期の	内容を 決める	
画 表	10	セリフ(台本)			28	前期終了時の状	:沢(力量) に より 後期のF	内容を 決める	
	11	セリフ(台本)			29	前期終了時の状	:沢(力量) に より 後期のF	内容を 決める	
	12	セリフ(台本)			30	前期終了時の状	六況(力量) により後期の[	内容を 決める	
	13	セリフ (台本)			31	前期終了時の状	汁沢(力量) により後期の	内容を 決める	
	14	セリフ(台本)			32	前期終了時の状	沈(力量) により後期の	内容を 決める	
	15	セリフ(台本)			33	前期終了時の状	:沢(力量) に より 後期のp	内容を 決める	
	16	セリフ(台本)			34	前期終了時の状	沢(力量) により後期の[	内容を 決める	
	17	セリフ(台本)			35	前期終了時の状	沢(力量) により後期の[	内容を 決める	
	18	セリフ(台本)			36	まとめ			
		テスト		30%	学	·習FB方法	※前後期 成績表送	<del>(1</del>	
成績害	削合	学習態度・出席率	<u> </u>	60%	1			. •	
7,50,500	.,_	レポート		10%	J	<b></b>	出席率:80% S[90~100点] A[80~89	9点] B[70~79点] C[60	
		合計		100%			~69点] D[59点以下は <sup>2</sup>		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10% 『悪役商会』「石井光三オフィス』出身 舞台役者 声優養成所で22年間 演技指導講師 をつとめ 若手声優を世に送り出してきました。 滑舌強化、音(声)の使い方、個性を引き出すことに は 自信があります。			型字省≫10%						

科目名	<u> </u>	音声表現		担	1.当 和	者 名	宮﨑 誠二	
学 科		声優·演劇科		1	授業プ	5法	実習	
認定単開講学		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	目的	表現者に必要な知識	ì・技術を学ぶ。					
授業 (ラーニ アウトカム	ング	座学により知識と、実	技演習により技術を同	時に修得して	ていく。			
授業概	既要	シアターゲームや座	学によって、知識と技術	<b>寄を同時に身</b>	′に付け	ナ、修了制作を彳	<b></b> デえるようにする。	
			授業内容				授業内容	
	1	発音・発声の基本			19	スポットアナウン	ス	
	2	正しい日本語とは			20	告知アナウンス		
	3	共鳴			21	トピックス		
4     声の特色     22     ニュース								
	5	共通語			23	23 エッセイ		
	6	母音と子音		24	旅行記			
	7	拍の意識		25	小説(地の文)①	)		
授	8	発音練習		26	小説(地の文)②			
業 計	9	特殊拍			27	小説(会話文)①	0	
画表	10	拗音、撥音、促音、長	音		28	小説(会話文)②		
	11	ガ行鼻音			29	歴史小説		
	12	母音の無声化			30	詩①		
	13	アクセント			31	詩②		
	14	品詞			32	エチュード		
	15	敬語			33	エチュード		
	16	難読漢字			34	おさらい・確認う	구자	
	17	難読漢字			35	おさらい・確認う	テスト	
	18	前期まとめ			36	おさらい・確認う	テスト、まとめ	
		テスト		30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	<del>(</del> †
成績害	引合	学習態度•出席率	\$	60%				
, , , , ,		レポート		10%	J.	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89	9点] B[70~79点] C[60
D/2/:	odel A	合計	EOO/ P. // Philip charts were	100%	A `	Held to be well and	~69点]	100 / EU W
P/R/A/C 講師コ	プロ		50% R《実働実践型》 弋表。劇団獣申 主宰。		A≪∄	- 14的参加型字省	∃≫20% G≪海外体感型	2子首≥10%

				シラ	<u> </u>	X		
科目名	占	オーディション対策	策 I	担	11 当 1	者名	小林 大祐	
学 科	ŀ	声優·演劇科		3	授業ス	方法	実習	
認定単開講学		2単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目		劇団、プロダクション ようになるか、稽古、	  等の所属オーディション	/に際し、如			Ⅰ か、また実技試験にて自	■ この能力を発揮出来る
授業 F (ラーニ	ング	個人で行う課題、相	手役と掛け合いで行う演	寅技課題を通	通じて、	役者として必要	な読解力、表現力を身に 前で緊張せずに喋る事な	
授業棚	<u> </u>	解力、魅力(自己哲学	★&声優としての基礎ト 学)などをまんべんなくい せ方、ミーティングの力	<b>ノベルアップ</b>	させて	いく。	長との付き合い方、表現ス	力、観察力、集中力、読
			授業内容				授業内容	
	1	①自己PRの方法①			19	①台詞課題①		
	2	②自己PRの方法②			20	②台詞課題②		
	3	③発声、発音の見直し	1)		21	③台詞課題③		
	4	④発声、発音の見直し②			22	④台詞課題(掛	け合い)①	
	5	⑤肉体トレーニング(基礎)			23	⑤台詞課題(掛け合い)②		
	6	⑥肉体トレーニング(基礎)			24	⑥台詞課題(掛	け合い)③	
	7	⑦肉体トレーニング(応用)			25	⑦台詞課題(掛	け合い)④	
授	8	⑧肉体トレーニング(応用)			26	⑧台詞課題(掛	け合い)⑤	
業計	9	⑨肉体トレーニング(応用)			27	⑨アフレコの基础	<b>遊知識①</b>	
画表	10	⑩台詞課題①			28	⑩アフレコの基础	<b>遊知識②</b>	
	11	⑪台詞課題②			29	①アフレコの基础	<b>遊知識</b> ③	
	12	②台詞課題③			30	⑫朗読課題①		
	13	③台詞課題④			31	③朗読課題②		
	14	④台詞課題⑤			32	⑭朗読課題③		
	15	⑤読解力講座			33	⑮十年年表(未	来年表) の作成	
	16	⑥実行力講座			34	⑥模擬オーディ	ション①	
	17	17)			35	⑪模擬オーディ	ション②	
	18	半年間のまとめ (期末を	- - スト)		36	⑱一年間のまと	め 期末テスト	
		テスト		30%	224	NADD 4-24	♦ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩ ₩	<i>L</i> -
	til 🛆	学習態度•出席率	Š	60%	字	習FB方法	※前後期 成績表送	া বি
成績害	刊台	レポート		10%		出席率:80%		0.E1 D[70- 70.E1 C[00
成績評価   S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C   合計   100%   大績評価   へ69点] D[59点以下は不合格]								
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%				型学習≫10%				
講師フィー		帰国後は桐朋学園芸	に留学、欧式演劇プロ 医術学部にて演劇を専 、脚本家、演出家、音	攻。卒業後、	演劇制	訓作体V-NETを	設立。	

			シラ	ハ <u></u>	ス		
科目名	<u></u>	ダンスパフォーマンス I	担	1.当 和	者名	小林 克則	
学 科		声優·演劇科	į	授業プ	方法	実習	
認定単開講学		2単位     開講期       1学年     必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	的	基礎となる身体の使い方を基にリズム感、音	「 手 楽解釈、表	現方法	振付の覚え方が	などを学び形にします。	
授業 E (ラーニ: アウトカノ	ング	ダンス作品の創作を通してプロとして現場に	こ立つ心得を	会得し	て卒業する事を	:目的とします。	
授業概	援要	ストレッチ、アイソレーション、バレエ基礎、ストレッチ、アイソレーション、バレエ基礎、スそれぞれの技術を音楽、リズムに乗せて表			、回転技の修練		
		授業内容				授業内容	
	1	自己紹介、授業内容の説明		19	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	2	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
	3	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
	4	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成及び全体反復練習		
	5	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
	6	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
	7	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
授	8	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
業計画	9	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	27	間のシーン作成	及び全体反復練習	
画 表	10	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	28	間のシーン作成及び全体反復練習		
	11	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	29	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	12	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	30	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	13	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	31	衣装準備、通し稽古		
	14	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	32	衣装準備、通し利	<b>管</b> 古	
	15	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	₫.	33	衣装準備、通し利	<b>管</b> 古	
	16	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振作	寸。	34	衣装準備、通し利	管古	
	17	前期ダンス発表リハーサル		35	ダンス発表 リハ	ーサル	
	18	前期ダンス発表	,	36	ダンス発表 本都	季・まとめ	
		テスト	30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付;
成績害	合	学習態度・出席率	60%			dustrate and	
		レポート 合計	10%	J.	成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89	
P/R/A/C	油点	「ローデー     P≪課題解決型学習≫20% R≪実働実践型	100%	Δ#-	主体的参加刑学 <sup>3</sup>	~69点] D[59点以下は <sup>2</sup> ■ > 30% G≪海外体域 <sup>3</sup>	
講師フフィー	プロ	逐野 伴 日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクーハイギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニミ 紙ベ17ヶ国での分違にメインキャストリーブ	√第1位。 Ⅳ演劇祭お				

科目名	<u> </u>	ヴォーカルレッスン	∕ I	担	1 当 7	5 名	熊坂 正実	
学 科	ŀ	声優・演劇科		ž	授業プ	方法	実習	
認定單開講学		2単位 1学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	目的	発声の基礎となる呼吸 法・歌唱法(舞台上での			発声に	「関わる咽喉・身	体のメカニズムを理解し	・ た「PEを用いない発声
授業 F (ラーニ アウトカ	ング	グループレッスンにより 身体を使った発声で 来年度からの個人レッ	侯の持久力を鍛え、呧	喉に負担が	掛かり	こくい発声法を値		
授業概	既要						声法(音感)の修練と習得 音源から表現情報を聴る	· -
			授業内容				授業内容	
	1	個々の音楽経験・歌唱にお し、発声に関しての基礎理解			19		見した発声基礎から一段階 用いた表現法の習練。	レベルを上げた応用歌唱
	2	発声法・呼吸法の基礎針 解と実践。	受錬と、発語に於ける基 <b>を</b>	遊知識の理	20	発語・発声法を用いた表現法の音線。 前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌り 発語・発声法を用いた表現法の習練。		
	3	発声法・呼吸法の基礎針 解と実践。	受錬と、発語に於ける基 <b>を</b>	遊知識の理	21	発語・発声法を用いた表現法の習練。 前期期間に習練した発声基礎から一段階レベルを上げた応用歌り 発語・発声法を用いた表現法の習練。		
	4	発声法・呼吸法の基礎鍛錬と、発語に於ける基礎知識の理解と実践。			22	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。		
	5	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。			23	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。		
	6	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。			24	発声法•呼吸法	・発語法の基礎及び応用鎖た楽譜読解と、音源から誘	<b>投鍊</b> 。
	7	発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。			25	発声法•呼吸法	・発語法の基礎及び応用鎖た楽譜読解と、音源から誘	设錬。
授	8	深題楽曲を用いた楽譜説解・聴力育放・歌唱指導。 発声法・呼吸法・発語法の基礎鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解・聴力育成・歌唱指導。			26	発声法•呼吸法	・発語法の基礎及び応用鎖た楽譜読解と、音源から誘	设鍊。
業計	9	発声法・呼吸法・発語法課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		27	発声法•呼吸法	・発語法の基礎及び応用鎖た楽譜読解と、音源から誘	受錬。
画表	10	発声法・呼吸法・発語法課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		28	発青注・呼吸注・発無法の基礎及び応田鍛錬		
	11	発声法・呼吸法・発語法課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		29	発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導。		
	12	発声法・呼吸法・発語法課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		30	発声法·呼吸法	・発語法の基礎及び応用鎖	受錬。
	13	発声法・呼吸法・発語法 課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		31	課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導 発声法・呼吸法・発語法の基礎及び応用鍛錬。 課題楽曲を用いた楽譜読解と、音源から読み解く歌唱表現指導		
	14	発声法・呼吸法・発語法課題楽曲を用いた楽譜	の基礎鍛錬。		32		フェージュ・課題曲)	1977) T \ W\ D 3X \ \D 11 \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \
	15	前期試験(ソルフェージ		****	33		・踏まえた個人面談(基礎技術 発声(歌唱)に対する理解度の	
	16	前期試験の結果を踏また識確認)	えた個人面談(基礎技術	習練度の認	34	JUNION COS II JOS	n wan n	PROME (\$471 75671)
	17	夏季休暇中に課した課人	質の発表と評価		35			
	18	前期期間に習練した発達 用歌唱。 発語・発声法			36			
		テスト		60%	334	77 DD 4-14-	25 W Hu	
스노스=	ы Л	学習態度·出席率		30%	子	習FB方法	前後期 成績表送付	
成績害	刊合	レポート		10%		₽《事录》 /m	出席率:80%	o Hi piece en tra
		合計		100%	J.	<b></b>	S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C ~69点] D[59点以下は不合格]	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫3	0% R≪実働実践型	学習≫30%	A≪Ì	体的参加型学習	】 ≫25% G≪海外体感型	!学習≫15%
P/R/A/C 講師コ	プロ	武蔵野音楽大学音楽	学部声楽学科卒業、 ジャズライブ等のステー	日本オペラ抜 -ジに出演。〕	長興会 東洋学	オペラ歌手育成	≫25% G≪海外体感型 部修了。国内各所にて 業学の講師を務める。ヴ	オペラ公演やミュー

	シラバス						
科目名	3	舞台実習 I	担	1 当 ā	者 名	日高 俊樹、宮﨑 誠二	=
学科	ŀ	声優・演劇科	ł	授業プ	方法	実習	
認定単	·	2単位 開講期				授業時間数	72時間
開講学	华	1学年 必・選	必選				
授業目	目的	演劇を通して表現力、想像力、集中力、コミ	ミュニケーショ	ン能力	かを身につける		
授業 トラーニ アウトカ	ング	それぞれの個性をいかしつつ公演や作品も 調性を養い更に次の目標に向からように導く		げるとい	いう共通の目標の	のため相手を尊重しデイ	スカッションしながら協
授業概	既要	戯曲やシナリオをどのように読み解釈し役を ケーション能力のためのエクササイズや発売 ケースなどを行い人前に立ち演じる楽しさ、	見力やアドリフ	が能力を	を高めるインプロ		
		授業内容				授業内容	
	1	自己紹介、授業内容説明		19	前期公演合評		
	2	コミュニケーションのエクササイズ		20	後期公演作品選	び、台本分析、読み合わせ	<u>‡</u>
	3	舞台の専門用語や古典や近現代、現代作品の	紹介	21	後期公演作品選	び、台本分析、読み合わせ	<u>†</u>
	4	台本の読み方、解釈の仕方の指導			後期公演作品選び、台本分析、読み合わせ		
	5	表現力のエクササイズ			立ち稽古		
	6	インプロビゼーション、即興のエクササイズ			立ち稽古		
	7	自分の好きな作品、感動した作品、人に薦めたい作品(舞 台、映画、本など)をスピーチする」			立ち稽古		
授	8	役作りをし作品のテーマや自分の役5Wとobjective			立ち稽古		
業計	9	サブテキストなどを明確にし台本を使い役を演じ	る	27	立ち稽古		
画 表	10	公演のための本読み、読み合わせ、俳優付け帳 の履歴書の提出	長、自分の役	28	立ち稽古		
	11	台本を持って立ち稽古		29	立ち稽古		
	12	台本を持って立ち稽古		30	立ち稽古		
	13	台詞を覚えて立ち稽古		31	立ち稽古		
	14	台詞を覚えて立ち稽古		32	立ち稽古		
	15	公演発表の稽古		33	通し稽古		
	16	台詞を覚えて立ち稽古		34	通し稽古		
	17	ゲネプロ(舞台稽古)		35	ゲネプロ(舞台稽	:古)	
	18	公演発表 まとめ		36	本番 まとめ		
		テスト	30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	<del></del>
成績害		学習態度•出席率	60%	7		小 [1] 区 [7]	I J
/ / / / / / / / / / / / / / / / / / /	4 🗖	レポート	10%	F	<b>龙績評価</b>	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60
		合計	100%	).	22/25(H] IIII	~69点] D[59点以下は	
P/R/A/0	G割合	P《課題解決型学習》30% R《実働実践型					
講師フィー		日高俊樹: 学座演技研究所卒業 1年間雨 クショップ行いながら自らも俳優・演出家とし 宮崎誠二: スタジオえっせんす代表。 劇団曹 の動跡 (日本ファルコム)	て活躍してい	いる。			

				シラ				
科目名	<u></u>	アフレコ実習 I		担	1 当 7	者 名 ————————————————————————————————————	川本 宗紀	
学 科		声優•演劇科		4	授業ス	方法	実習	
認定単		2単位	開講期	) / Jaa			授業時間数	72時間
開講学	华	1学年	必・選	必選				
授業目	的	声優になるための基	礎となる、滑舌、演技、	読解力、表現	見者とし	<sub>ン</sub> てセルフプロテ	・ュースが出来るよう基本	いかな事を教えていく。
授業 E (ラーニ アウトカル	ング	綺麗な滑舌及び、感ようにする。	情表現をしっかりと身に	こつけ、羞恥	心無く	演じられるように	し、同時に簡単なPC操	作、動画を制作出来る
授業概	既要	基本となる外郎売・滑	解力、PC操作、音声編 骨舌練習課題を与え、『 ースが出来るようPC操	業る基礎を固	めたあ	と、感情をしっ	かりと出した演技が出来 習得させる。	るようにしていく。
			授業内容				授業内容	
	1	外郎売及び滑舌練習			19	ラジオ収録		
	2	外郎売及び滑舌練習			20	ラジオ収録		
	3	外郎売及び滑舌練習			21	ラジオ収録		
	4	演技指導			22	音声編集		
	5	演技指導			23	音声編集		
	6	演技指導			24	音声編集		
	7	ドラマCD練習			25	動画作成の仕方	;	
授	8	ドラマCD練習			26	動画作成の仕方	f	
業計	9	ドラマCD練習			27	素材の集め方と	利用方法	
画表	10	ドラマCD練習			28 素材の集め方と利用方法			
	11	PC操作の指導			29 動画制作の基礎			
	12	ドラマCD収録			30	30 動画制作の基礎		
	13	編集ソフトの使用方法			31	ラジオ動画制作開始		
	14	ドラマCD作成			32	ラジオ動画制作		
	15	ドラマCD作成			33	ラジオ動画制作		
	16	ドラマCD作成			34	ラジオ動画制作		
	17	動画制作ソフトのDLと	インストール		35	ボイスサンプルイ	作成方法	
	18	動画作成ソフトの使用に	方法		36	ボイスサンプルイ	作成方法	
		テスト		30%	<b>~</b>	習FB方法		
成績害		学習態度・出席率	<u> </u>	60%	子	自口力伝		
八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八	10	レポート		10%		北海河石	出席率: 80%	0 E 1 P[20 20 E ] 0
		合計		100%	)	<b>戍績評価</b>	S[90~100点] A[80~8 ~69点] D[59点以下は	
P/R/A/C	割合	P≪課題解決型学習≫	30% R≪実働実践型	学習≫30%	A≪Ì	体的参加型学習	≫30% G≪海外体感型	皇学習≫10%
講師フィー							ご、動画・ゲーム・ドラマ(	CD・アニメーション・部

科目名	5	PC基礎		ン フ <i>i</i>	1 当 君		千葉 輝子		
学 科		声優·演劇科		1	授業ス	方法	実習		
認定単開講学		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目	目的	Word Power Point	Excelを実務で役立つ	幾能を身に付	けける				
授業 F (ラーニ アウトカム	ング		ointの基本操作及び効 作及び効率の良い表				字に付ける		
授業棚		作成できるようになる ・PowerPointで効率の 作成するスキルも身	スキルを身に付ける ひ良いプレゼン資料を6	作成できるよ	うになる	るだけでなく、最	て恥ずかしくないよう、ビジ 近よく見られるA4用紙一 ♪に付ける		
			授業内容				授業内容		
	1	ガイダンス			19	ビジネスメールの	)ルール		
	2	ガイダンス			20	Power Pointの基	Power Pointの基本操作及びスライドの作成方法(アウトライン)		
	3	ガイダンス			21	図形の挿入			
	4	科目ガイダンス			22	図形の挿入	図形の挿入		
	5	文字入力の基本 1			23	画像の編集および表の挿入			
	6	文字入力の基本 2			24	Power PointでA	4用紙1枚にチラシを作成)		
	7	ビジネス文書のルール			25	小テスト(Power	Point 総合課題)		
授	8	ビジネス文書課題(表のないビジネス文書)			26	Excelの基本操作	宇(文字入力/数式入力)		
業計	9	ビジネス文書課題(表の	つないビジネス文書)		27	表作成課題(四	則演算/表の装飾)		
画表	10	表作成の基本			28	表作成課題(相	対参照と絶対参照)		
	11	ビジネス文書課題(表の	のあるビジネス文書)		29	課題(計算、表の	)装飾、グラフ)		
	12	画像の挿入および加工	1		30	表作成課題(CC	DUNT/COUNTA関数)		
	13	Word 総合問題 1			31	課題(ガントチャ	<b>−</b> ⊦)		
	14	Word 総合問題 2			32	後期期末試験(	Excel課題)		
	15	Word 総合問題 3			33	後期期末試験の	解答解説及び後期振り返	n	
	16	Word 総合問題 4			34	ガイダンス			
	17	前期期末試験(Word部	果題)		35	ガイダンス			
	18	前期期末試験の解答所	 		36	ガイダンス			
		テスト		70%	学	翌FR七注			
成績害		学習態度•出席率	<u> </u>	30%	7	学習FB方法			
/4人//貝育	4 🖂	レポート				<b></b> 龙績評価	出席率80%以上 \$90~100点 A80~89	-	
成績評価									
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》50% R《実働実践型学習》 A《主体的参加型学習》50% G《海外体感型学習》									
講師フ							書の作成、売上の月次処 オフィス操作の指導を心打		

		_		シラ	バ	ス 			
科目名	5	基礎ゼミ		担当者名 日高俊樹、嶋愛萌					
学 科	•	声優·演劇科		ł	受業プ	方法	ぜミ		
認定単開講学			引講 期 公・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目	目的	演劇を通して表現力、想像力 その演劇スキルを活かし、地			ン能力	うを身につける			
授業 E (ラーニ アウトカム	ング	相手を尊重しデイスカッション 他者理解力、主体性・積極性			こ次の	目標に向かうよう	うに導く		
授業棚	既要	演劇ワークショップ、コミュニク さや喜びを理解させる	rーション能力の	のためのエク	のエクササイズ・インプロビゼーションを通して、人とのかかわる			のかかわる楽しさ、難	
		授業内	内容				授業内容		
	1	自己紹介、授業内容説明			19	演劇のスキルを	活かしてなにができるか(探	:求)	
	2	※基本ベース コミュニケーション ゼーション	/のエクササイズ	、、インプロビ	20	演劇のスキルを活かしてなにができるか(探求)			
	3	コミュニケーションのエクササイフ	、インプロビゼ・	ーション	21	演劇のスキルを活かしてなにができるか(探求)			
	4	コミュニケーションのエクササイフ	、インプロビゼ・	ーション	22	演劇のスキルを活かしてなにができるか(地域公演・社会貢献に同て)			
	5	コミュニケーションのエクササイフ	クササイズ、インプロビゼーション			演劇のスキルを活かしてなにができるか(地域公演・社会貢献に て)			
	6	コミュニケーションのエクササイフ	、、インプロビゼ・	ーション	24	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
_	7	コミュニケーションのエクササイフ	、、インプロビゼ・	ーション	25	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
授	8	コミュニケーションのエクササイフ	クササイズ、インプロビゼーション			演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
業計	9	コミュニケーションのエクササイフ	、インプロビゼ・	ーション	27	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
画表	10	コミュニケーションのエクササイフ	、、インプロビゼ・	ーション	28	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	11	コミュニケーションのエクササイス	、、インプロビゼ・	ーション	29	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	12	演劇ワークショップでの自分のア	プローチ方法を	を考える	30	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	13	演劇ワークショップでの自分のフ	プローチ方法を	<b></b> 上実践	31	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	14	演劇ワークショップに向けて企画	iしていく		32	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	15	演劇ワークショップに向けて企画	iしていく		33	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	16	演劇ワークショップに向けて企画	iしていく		34	演劇のスキルを て)	活かしてなにができるか(地	域公演・社会貢献に向	
	17	ミニワークショップ			35	演劇のスキルを	活かして地域公演・社会貢	献	
	18	まとめ			36	まとめ			
		テスト		30%	<b>*</b>	習FB方法	※授業のプロセスには		
成績害		学習態度•出席率		60%	7-	BI DATA	7*\J&7*\7/ P C/\(C\)		
以限吉	4 E	レポート		10%		北海河加	出席率:80%	0 #1 PF20 =0 #1 ~	
		合計	成績評価 S[90~100点] A[80~89点] F ~69点] D[59点以下は不合格.						
/R/A/0	3割合	P≪課題解決型学習≫30%	R《実働実践型	学習≫30%	A≪∃	主体的参加型学	習≫30% G≪海外体感	型学習≫10%	
講師プ		文学座演技研究所卒業 1年 行いながら自らも俳優・演出			)演劇	学校に留学。 帰	国後「グダイメイト」を主管	幸し、演劇ワークショ	

			シラ	バ	ス		
科目名	5	フリープロジェクトC I	担	1 当 ā	<b>当</b> 名	日高 俊樹、宮﨑 誠二	二、嶋 愛萌、佐香 穣、
学 科	ŀ	声優·演劇科	į	授業プ	方法	実習	
認定單開講学	·	3単位     開講期       1学年     必・選	必選			授業時間数	108時間
授業目	目的	学びの集大成、総合力、地域・社会貢献					
授業 F (ラーニアウトカ	ング	主体性·協働力·発信力					
授業棚	既要	企画内容、講師等、旬なプロジェクトを動かり	し取り組んで	いく			
		授業内容				授業内容	
	1	プロローグ		19	プロジェクト 取り	)組み	
	2	プロジェクト 取り組み		20	プロジェクト 取り組み		
	3	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り	)組み	
	4	プロジェクト 取り組み			22 プロジェクト 取り組み		
	5	プロジェクト 取り組み			23 プロジェクト 取り組み		
	6	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り	)組み	
	7	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り	)組み	
授	8	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り	)組み	
業計	9	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り	)組み	
画 表	10	プロジェクト 取り組み		28 プロジェクト 取り組み			
	11	プロジェクト 取り組み		29 プロジェクト 取り組み			
	12	プロジェクト 取り組み		30	プロジェクト 取り	)組み	
	13	プロジェクト 取り組み		31	プロジェクト 取り	)組み	
	14	プロジェクト 取り組み		32	プロジェクト 取り	)組み	
	15	プロジェクト 取り組み		33	プロジェクト 取り	)組み	
	16	プロジェクト 取り組み		34	プロジェクト 取り	)組み	
	17	プロジェクト 取り組み		35	プロジェクト 取り	)組み	
	18	プロジェクト 取り組み		36	プロジェクト 取り	)組み	
		テスト	10%	عدر	33cp+3+	佃 ム ガューデ オピ	ZED
+++4-1	ni 🛆	学習態度·出席率	80%	字	習FB方法	個々、グループ、適宜	TLR
成績害	刊合	レポート	10%		北海河石	出席率:80%	0년] P[70 - 70년] O[00
		合計	100%	):	<b>战績評価</b>	S[90~100点] A[80~8 ~69点] D[59点以下は <sup>2</sup>	9点] B[70~79点] C[60 不合格]
, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,							
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》25% R《実働実践型学習》25% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》20% 日高俊樹:文学座演技研究所卒業 1年間雨オリカ・ロサンゼルスの演劇学校に留学。帰国後「グダイメイト」を主宰しワークショップ行いながら自らも俳優・演出家として活躍している。 宮崎誠二:スタジオえっせんす代表。劇団獣猿 主催。TV、ドラマCD、ゲーム等の音響演出、音響効果を担当。最第の動脉(日本ファルコム) ※他 外無特別講師				している	5.		

				シラ	バ	ス			
科目名	各	演劇リテラシーⅡ		担	出当者	者名	牛房 やよい		
学 科	ŀ	声優·演劇科		į	授業ス	方法	講義		
認定単	单位	2単位	開講期				授業時間数	36時間	
開講学	华年	2学年	必・選	必修					
授業目	目的	未来・社会を生きてい	・ベスキルをつける						
授業 [ (ラーニ アウトカ.	ング	進路に関わる知識・		ニュースや			ション力、メンタル力を強 持ち積極的に考える事	能化する。 、自分の意見を持ち伝え又	
授業棚		声優・演劇科 ホーム・挨拶・マナーの徹底・日々の連絡事項の		v等々) 個人ゞのサ:		に関してのディン	2.11v3/31/		
			授業内容	14,02(/	,,		授業内容		
	1	自己紹介 学科オリエン	ノテーション		19	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	2	面談 学科オリエンテー	-ション		20	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	3	面談、課題発表			21	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	4	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	22	情報共有、テー	ーーマディスカッション、リアルタイム課題		
	5	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			23	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	6	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			24	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	7	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			25	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
授	8	情報共有、テーマディスカッション、リアルタイム課題			26	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
業計二	9	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	27	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
画表	10	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム間	果題	28	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	11	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	29	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	12	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	30	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	13	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	31	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	14	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	32	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ		
	15	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	33	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	16	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム語	果題	34	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ	イム課題	
	17	情報共有、テーマディン	スカッション、リアルタイム記	果題	35	情報共有、テー	マディスカッション、リアルタ		
	18	前期まとめと後期につい	ハて		36	まとめ			
		テスト		30%	学	習FB方法	※学生個々にあわせ	T	
成績害	訓合	学習態度•出席率	<u> </u>	60%	,		7-1 7 12 12 1 1 CO 747 C	-	
/-人/!只口	., ப	レポート		10%	ŀ	<b>龙績評価</b>	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60~69	
		合計		100%		成績評価 S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] 点] D[59点以下は不合格]			
P/R/A/0 講師ご		担任教員: 牛房やよ		舌動を経て、	演劇分	と画・由木事務所	習≫30% G≪海外体感 「にて公演活動を続けな	型学習≫10% がら、1991年教員として着	
フィール 任、現在は公演企画時に制作として携わる等活動をおこなっている。									

				シラ	<u></u>	ス		
科目名	古	コミュニケーション	/演習Ⅱ	担	1 当 君	者 名	牛房 やよい、嶋 愛萌	i
学 科	ŀ	声優•演劇科		1	授業プ	方法	実習	
認定単	·	1単位	開講期	いた。			授業時間数	36時間
開講学	-年	2学年 コミュニケーション能	かの向ト	必選				
授業目	目的	自己プロデュース能総合プロデュース能	力の習得					
授業 トラーニ アウトカ	ング		ミュニケーション能力の な自己・総合プロデュ		習得をは	かざす		
授業概	既要		PR活動や配信スキルに の広告・配信活動に取					
			授業内容				授業内容	
	1	SNSの応用理解			19	後期取組に関し	てのミーティング及び目標	設定
	2	取組①			20	取組⑰		
	3	取組②			21	取組®		
	4	取組③			22	取組印		
	5	取組④			23	取組20		
	6	取組⑤			24	取組②		
	7	取組⑥			25	取組②		
授	8	取組⑦			26	取組3		
業計	9	取組⑧			27	取組②		
画表	10	取組⑨			28	取組35		
	11	取組⑩			29	取組36		
	12	取組⑪			30	取組②		
	13	取組⑫			31	取組②		
	14	取組③			32	取組②		
	15	取組④			33	取組30		
	16	取組⑮			34	取組③		
	17	取組⑯			35	後期取組まとめ	プレゼンテーション	
	18	前期取組まとめプレゼン	ノテーション		36	一年を通しての	総括	
		テスト		10%	学	習FB方法	都度、個人、グルーフ	プに合わせて行う
成績害	訓合	学習態度•出席率	\$	60%	,			
7人// 百	14 🖂	レポート		30%	F	<b></b> 龙績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60~69
		合計		100%	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	> 4057 H.J. IIIM	点] D[59点以下は不合相	
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫ 牛房:学科担任	20% R≪実働実践型	学習≫30%	A≪±	体的参加型学習	「≫40% G≪海外体感型	学習≫10%
講師コフィー		嶋 愛萌:2017年度に	こ本校演劇・声優科卒 アミューズメント業務に 科にて講師契約					

		T		シラ	バ	ス			
科目名	3	業界セミナー		担	1.当 和	<b>当</b> 名	佐香 穣		
学 科		声優·演劇科		į	授業プ	方法	講義		
認定単開講学		2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目	的	志望する養成所機関	      を決定し、入所を目指	す。					
授業 E (ラーニ アウトカ	ング	志望する養成所、劇 それに応じて自己プ							
授業棚	既要		旦当者をお招きし、  に学内オーディションを 向けた自己プロデュー。						
			授業内容				授業内容		
	1	養成所説明会1			19	学内オーディショ	1V		
	2	養成所説明会2			20	学内オーディショ	シ		
	3	養成所説明会3			21	学内オーディショ	ay		
	4	養成所説明会4			22	学内オーディション			
	5	養成所説明会5			23	学内オーディショ	シ		
	6	養成所説明会6			24	学内オーディショ	iV		
	7	養成所説明会7			25	学内オーディショ	عاد ا		
授	8	養成所説明会8			26	学内オーディショ	عند ا		
業計	9	養成所説明会9			27	学内オーディショ	عند ا		
画表	10	養成所説明会10			28	学内オーディショ	シ		
	11	養成所説明会11			29	学内オーディショ	∃ <b>ン</b>		
	12	養成所説明会12			30	学内オーディション			
	13	養成所説明会13			31	学内オーディション			
	14	養成所説明会14			32	学内オーディショ	عبر 		
	15	養成所説明会15			33	学内オーディショ	عبر 		
	16	養成所説明会16			34	学内オーディショ	عبر 		
	17	養成所説明会17			35	学内オーディショ	3×		
	18	養成所説明会18			36	学内オーディショ	عند 		
		テスト		30%	学	習FB方法	都度、個人に合わせ	て行う	
成績害		学習態度•出席率	<u></u>	60%	7		ロバス、川口ノバトロ4ノビ	~ II /	
以利其古	ıП	レポート		10%		北緒 証 価	出席率:80% \$[90~100点] A[80~8]	a占l R[70~70占] C[60-60	
		合計		100%	成績評価		S[90~100点] A[80~89点] B[70~79点] C[60~69点] D[59点以下は不合格]		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》10%				学習≫10%					
佐香 穣:業界セミナー講師 私立NHK学園高等学校 卒業 東京工学院専門学 声優・演劇科 平成28年度卒業 アクセルワン附属養成所アクセルゼロ 研究科卒業 劇団一の会WS 三の会にて自主公演「時限爆弾」「死体が一つ・身な フィール に出演 厚生労働省 明るい職場応援団 ハラスメント再現VTR等 映像作品においても精力的に活動 現在 声優事務所アル・シェア 進所属				i」「死体が一つ・身の上話」					

				シラ	バ	ス				
科目名	各	Cv収録·動画制作	<b>乍</b>	担	1 当 相	者 名	川本 宗紀			
学 科	ŀ	声優•演劇科		į	授業ス	方法	実習			
認定単	单位	2単位	開講期				授業時間数	72時間		
開講学	华年	2学年	必・選	必選			12 未刊 问 数	1 2 - 0 [H]		
授業目	目的	動画の編集技術を習	得させ、自身の作品を	動画として気	完成さ-	せる。	き行い、セルフプロデュースが出来るよう、PC操作及び音デーションカの向上も狙う。			
授業 (ラーニ		しっかりとした演技が	出来るようにすると同時	に、動画の網	編集技	術を習得させる	0			
アウトカ・ 授業棚		自身の作品のキャラタ 同時に、同期に求めまた、動画として作品	クターを演じつつも、同 る演技を演者に分かり。 を制作してもらい、自	期が作成す やすく礼儀を 分がどのよう!	る作品 ·持って に演じ	にも出演させ、 伝え、演じても ているのかを第		支が出来るようにする。 , 演技力の向上を狙うと同時		
			授業内容				授業内容			
	1	ボイスサンプル練習			19	卒展シナリオ作品	戈			
	2	ボイスサンプル収録			20	卒展シナリオ作品	戈			
	3	動画シナリオ作成			21	卒展シナリオ作品	展シナリオ作成			
4 動画オーディション用紙作成、オーディション 22 オーディション用紙		紙作成								
	5	収録			23	オーディション				
	6	収録			24	収録				
	7	動画作成			25	収録				
授業	8	動画作成			26	収録				
計画	9	動画作成			27	収録				
表	10		オ作成(テーマが決まってい 貢献、地域貢献ジャンルのシ		28	収録				
	11	オーディション用紙作成	<b>、オーディション</b>		29	収録				
	12	オーディション用紙作成	t、オーディション		30	動画作成				
	13	収録			31	動画作成				
	14	収録			32	動画作成				
	15	動画作成			33	動画作成				
	16	動画作成			34	動画作成				
	17	動画作成			35	動画作成				
	18	卒展テーマに沿ったシ 際の時同様のジャンル	ナリオ作成(決まっていな で作成)	い場合は学	36	動画作成				
		テスト		30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付		
成績害		学習態度•出席率	₫	60%	,			. •		
7人/贝百	11 🗖	レポート		10%	ı	<b></b> 龙績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60~69		
		合計		100%						
P/R/A/0	G割合	P≪課題解決型学習≫	30% R≪実働実践型	学習≫30%	A≪∄	体的参加型学習	≫30% G≪海外体感型	!学習≫10%		
講師プ							ご、動画・ゲーム・ドラマC	D・アニメーション・歌・MV等		

シラバス								
Í	オーディション対象	<del></del>	担	1 当 1	者名	小林 大祐		
	声優•演劇科		1	授業プ	方法	実習		
位	2単位	開講期				授業時間数	72時間	
年	2学年	必・選	必選	<del></del>	~# Jpp+ /->			
的	になるか、稽古、勉強	i、研究を行う。					己の能力を発揮出来るよう	
目標 ング ムズ)								
援要	力、魅力(自己哲学)	などをまんべんなくレベ	· ・ ルアップさも	せてい	<₀	長との付き合い方、表現の	力、観察力、集中力、読解	
		授業内容				授業内容		
1	①自己PRの方法①			19	①台詞課題①			
2   ②自己PRの方法②   2			20	②台詞課題②				
3	③発声、発音の見直し	D		21	③台詞課題③			
4	④発声、発音の見直し	2		22	④台詞課題(掛)	)台詞課題(掛け合い)①		
5	⑤肉体トレーニング(基礎)			23	⑤台詞課題(掛	け合い)②		
6	⑥肉体トレーニング(基礎)			24	⑥台詞課題(掛	<b>け合い)③</b>		
7	⑦肉体トレーニング(応用)			25	⑦台詞課題(掛	け合い)④		
8	⑧肉体トレーニング(応	用)	26 ⑧台詞課題(掛ける		け合い)⑤			
9	⑨肉体トレーニング(応	用)		27	⑨アフレコの基础	<b>陸知識①</b>		
10	⑩台詞課題①			28	⑩アフレコの基础	<b>陸知識②</b>		
11	⑪台詞課題②			29	⑪アフレコの基礎	<b>睦知識③</b>		
12	⑫台詞課題③			30	⑫朗読課題①			
13	⑬台詞課題④			31	⑬朗読課題②			
14	4 分詞課題⑤			32	④朗読課題③			
15	⑤読解力講座			33	⑤十年年表(未	来年表) の作成		
16	⑯実行力講座			34	16模擬オーディ	ンョン① 		
17	17)			35	①模擬オーディ:	ンョン②		
18	半年間のまとめ (期末ラ	· スト)		36	18一年間のまとる	か 期末テスト		
	テスト		30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付	
合	. ,	\$	60%					
	レポート		10%	J.	<b></b> 成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60~69	
	合計		100%			点] D[59点以下は不合材		
割合 プロ ル	17歳からフィンランド 帰国後は桐朋学園芸	に留学、欧式演劇プロ にイントラックでは では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	デュースシス <b>吹。卒業後、</b>	デムを 演劇#	·学ぶ。 則作体V-NETを		型学習≫10%	
	位年 的 標/バス 要 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18	声優・演劇科   2単位   2単位   2学年   劇団、プロダクション   1世   20   2   2   2   2   2   2   2   2	声優・演劇科	声優・演劇科   2単位   開講期   必・選   必選   必・選   必・選   必・選   必・選   必・選   必選   劇団、プロダクション等の所属オーディションに際し、如になるか、稽古、勉強、研究を行う。 また、オーディションの勝率を行う。 また、オーディションの勝率を行う。 また、オーディションの勝率を行う。 は   例人で行う課題、相手役と掛け合いで行う演技課題を過また、点呼時に毎回1分間のスピーチを行い、自分の個   自己PRの方法、役者&声優としての基礎トレーニング、	声優・演劇科   授業力   授業力   投業力   位	声優・演劇科   授業方法       位	声優・演劇科   接業方法   実習   接業 時間 数   接業 時間 数   2字年   2/2   2 単位   開講 期   必適   接業 時間 数   2字年   2/2   2 単位   現講 期   2 ※ 勝 間 数   2 ※ 時 間 数   2 ※ 所	

	シラバス							
科目名	<u></u>	ダンスパフォーマ	ンスⅡ	担	当者	者名	小林 克則	
学 科		声優·演劇科		授業方法		方法	実習	
認定単開講学		2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	的	基礎となる身体の使	ハ方を基にリズム感、音	楽解釈、表	現方法	振付の覚え方々	などを学び形にします。	
授業 E (ラーニ: アウトカノ	ング	ダンス作品の創作を	通してプロとして現場に	立つ心得を	会得し	て卒業する事を	:目的とします。	
授業概	既要		-ション、バレエ基礎、ス 楽、リズムに乗せて表現			、回転技の修練		
			授業内容				授業内容	
	1	自己紹介、授業内容の	説明		19	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	2	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t <sub>o</sub>	20	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	3	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	† <sub>0</sub>	21	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	4	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t <sub>o</sub>	22	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	5	全4~5シーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			23	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	6	全4~5シーンからなる	なるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
	7	全4~5シーンからなる	ノーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
授業	8	全4~5シーンからなる	ーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
計画	9	全4~5シーンからなる	ーンからなるナンバーのうちの2曲振付。			間のシーン作成	及び全体反復練習	
表	10	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	· .	28	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	11	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t.	29	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	12	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t.	30	間のシーン作成	及び全体反復練習	
	13	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t.	31	衣装準備、通し	<b>管</b> 古	
	14	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t.	32	衣装準備、通し利	管古	
	15	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t.	33	衣装準備、通し	稽古	
	16	全4~5シーンからなる	ナンバーのうちの2曲振付	t <sub>o</sub>	34	衣装準備、通し	稽古	
	17	前期ダンス発表リハー	ナル		35	ダンス発表 リハ	ーサル	
	18	前期ダンス発表	ı		36	ダンス発表 本都	・まとめ	
		テスト 学羽能産, 山鹿豆	7	30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付
成績害	自合	学習態度・出席率	7	60%			出席率: 80%	
		合計		10%	J.	<b>战績評価</b>		9点] B[70~79点] C[60~69 各]
P/R/A/C	P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》20%							
遠野 祥  講師プロ 日本ジャズダンス芸術協会ダンスコンクール第1位。 フイール イギリスエジンバラ演劇祭、フランスアビニヨン演劇祭およびギリシャ、ニューヨーク公演、オーストラリア、カナダ、中国公演など3				、カナダ、中国公演など延				

		1		シラ	バ	ス		
科目名	<u></u>	ヴォーカルレッス	ン11	担	当者	者 名	熊坂 正実	
学 科		声優·演劇科		1	受業プ	方法	実習	
認定単開講学	_	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間
授業目	的	発声の土台・基礎とな	なる呼吸法を会得し、安	定した発声	と感情	表現を音楽的り	見地からのアプローチで習	習得する。
授業目 (ラーニ) アウトカム	ング	個人の力量に合わせ	て個人レッスンを主体。	とし、一人一	人が自	信を持って歌え	さる・マイクの前に立てる	状態を最終目標とする。
授業概	悪		音程発声の修練。 レ及びアナログ音源につい、譜面からのアナリー					
			授業内容				授業内容	;
	1	春期休暇中に課した課題 グループレッスンから個人	の発表(ソロ歌唱)と評価 レッスンへの移行に関しての	)ガイダンス	19		英語)を用いての発声表現 定的な相違点の理解	・感情表現と、日本語翻訳歌詞
	2		基礎技術の復習(個々のレベ 吹唱)に対する理解確認(長月		20		英語)を用いての発声表現 定的な相違点の理解	・感情表現と、日本語翻訳歌記
	3	個人レッスン及び面談 の方向性の提示	こて、個々の長所・短所の	理解と今後	21		英語)を用いての発声表現 定的な相違点の理解	・感情表現と、日本語翻訳歌記
	4	学生個々が選曲した楽 ゼ含む)	曲による個人レッスン(楽	譜アナリー	22	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び 発語表現・音色の効果的な使い分け)		
	5	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリー ゼ含む)			23		した楽曲による個人レッス の効果的な使い分け)	ン(楽譜アナリーゼ・発声及び
	6	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリー ゼ含む)			24		した楽曲による個人レッス の効果的な使い分け)	ン(楽譜アナリーゼ・発声及び
	7	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリー ゼ含む)			25		した楽曲による個人レッス の効果的な使い分け)	ン(楽譜アナリーゼ・発声及び
授	8	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリー ゼ含む)			26	音響機器を用い	てのマイク歌唱実習	
業計	9	学生個々が選曲した楽 ゼ含む)	善による個人レッスン(楽	譜アナリー	27	音響機器を用い	てのマイク歌唱実習	
画 表	10	デュエット楽曲(日本語 それに応じたブレス変化	)を用いての発声表現・原 ヒ・音色変化の習得	感情表現と、	28		した楽曲による個人レッス の効果的な使い分け・フル	ン(楽譜アナリーゼ・発声及びコーラス歌唱)
	11	デュエット楽曲(日本語 それに応じたブレス変	)を用いての発声表現・履 ヒ・音色変化の習得	感情表現と、	29		」した楽曲による個人レッス の効果的な使い分け・フル	ン(楽譜アナリーゼ・発声及び コーラス歌唱)
	12	デュエット楽曲(日本語 それに応じたブレス変化	)を用いての発声表現・履 と・音色変化の習得	感情表現と、	30	学生個々が選曲した楽曲による個人レッスン(楽譜アナリーゼ・発声及び 発語表現・音色の効果的な使い分け・フルコーラス歌唱)		
	13	それに応じたブレス変化			31		にた楽曲による個人レッズ の効果的な使い分け・フル	ン(楽譜アナリーゼ・発声及びマーラス歌唱)
	14	学生個々が選曲した <sup>2</sup> ゼ・発声及び発語表現	生曲による個人レッスン(楽 )	譜アナリー	32	後期試験(ソル)	7ェージュ・自由曲)	
	15	前期試験(ソルフェージ			33		を踏まえた個人面談(個人 の発声(歌唱)に対する理	、目標の達成・未達成確認) 解確認(長所・短所)
	16	前期試験の結果を踏ま 達成の認識確認) 夏期休暇中に課した課題	えた個人面談(個人目標の発表(ソロ歌唱)と評価	の達成・未	34			
	17		が発表(グロ歌音)と評価できる。	分の声に対す	35			
	18		と用いての発声表現・感情 目との決定的な相違点の理		36			
		テスト		60%	学	習FB方法	前後期 成績表送付	
成績割		学習態度・出席率	₹	30%	,		111 K/91 PAIDS AK ICT	
<b>从侧</b> 育	л <u>П</u>	レポート		10%	1	<b></b> 龙績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点〕B[70~79点] C[60~6
合計     100%       点) D[59点以下は不合格]								
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》20% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》20%			習≫20%					
講師プロフィール 武蔵野音楽大学音楽学部声楽学科卒業、日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了。国内各所にてオペラ公演やミュージスティール でイナーショー、ジャズライブ等のステージに出演。東洋学園大学にて音楽学の講師を務める。ヴェント・ピアノヴォーカル教育室、ミューズ熊坂音楽スタジオ講師、ベルカント音楽院講師。								

				シラ			<u> </u>			
科目名	, I	舞台実習Ⅱ		担	当有	者 	日高 俊樹、宮﨑 誠二			
学 科		声優•演劇科		ł	受業プ	方法	実習			
認定単開講学		4単位 2学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	144時間		
授業目			、 想像力、 集中力、 コミ		いん能力	を身につける				
		1 映画と思じて紅光力	、心脉/八米丁/八二、		10 HE)	15215 217.2				
授業目 (ラーニ) アウトカム	ング	それぞれの個性をい を養い更に次の目標		と共に作り上に	げるとい	ハう共通の目標の	のため相手を尊重しデイ	スカッションしながら協調性		
授業概	·接	ション能力のためのコ		やアドリブ能力	かを高さ			ロカや表現力、コミュニケー シーンのショーケースなど		
			授業内容			授業内容				
	1	休み中の宿題発表(作	品のスピーチ)		19	卒業公演、台本	選び			
	2	新入生歓迎公演の稽さ	5		20	卒業公演、台本	選び			
	3	新入生歓迎公演の稽古	İ		21	台本読み合わせ	1、台本分析			
	4	新入生歓迎公演の稽古			22	台本読み合わせ、台本分析				
	5	新入生歓迎公演の稽古			23	台本読み合わせ	大台本分析			
	6	新入生歓迎公演の稽古			24	台本読み合わせ	大台本分析			
	7	発表 まとめ			25	立ち稽古、通し	警古			
授業	8	シェイクスピア作品探求			26	立ち稽古、通しれ	管古			
計画	9	シェイクスピア作品探求			27	立ち稽古、通し	警古			
表	10	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		28	立ち稽古、通し	管古			
	11	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		29	立ち稽古、通し	管古 ————————————————————————————————————			
	12	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		30	立ち稽古、通し	<b>省古</b>			
	13	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		31	立ち稽古、通し	<b>管古</b>			
	14	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		32	立ち稽古、通し利	警古			
		シェイクスピア作品の発				立ち稽古、通し				
	16	シェイクスピア作品の発	表のための稽古		34	立ち稽古、通しれ				
		シェイクスピア作品の発				ゲネプロ(舞台稽	(古)			
	18	シェイクスピア作品の発	表のための稽古	ı	36	本番 まとめ	T			
		テスト 学習態度・出席率	<u> </u>	30% 60%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付		
成績割	自合	アロ 思及 田州 サレポート		10%			出席率:80%			
		合計		100%	J.	<b></b> 成績評価		9点] B[70~79点] C[60~ 各]		
P/R/A/G	割合	P≪課題解決型学習≫	30% R≪実働実践型	学習≫30%	A≪ =	主体的参加型学習	¶≫30% G≪海外体感	型学習≫10%		

		ı		ンフ				
科目名	5	アフレコ実習Ⅱ		担	当者	者 名		
学 科	•	声優·演劇科		1	授業プ	方法	実習	
認定単		4単位	開講期	), )aa			授業時間数	144時間
開講学		2学年	必・選	必選				
授業目	的	表現者に必要な知識	・技術を学ぶ。					
授業目 (ラーニ アウトカノ	ング	座学により知識と、実	技演習により技術を同	時に修得。	また、考	えて演技するこ	とを実践。	
授業概	既要	エチュード、シアター け、高度な卒業公演	ゲーム、座学によって を行えるようにする。	、基本を丁等	室に復習	習し、		考える力を身に付
			授業内容				授業内容	
	1	オーディオドラマ①			19	映像・アニメ台本	の読み方①	
	2	オーディオドラマ②			20	映像・アニメ台本	の読み方②	
	3	オーディオドラマ③			21	ショートアニメ①		
	4 オーディオドラマ④			22	ショートアニメ②			
	5	オーディオドラマ⑤			23	ショートアニメ③		
	6	戯曲読み①			24	ショートアニメ④		
	7	戯曲読み②			25	外画①		
授	8	戯曲読み③			26	外画②		
業計	9	戯曲読み④			27	外画③		
画表	10	戯曲読み⑤			28	アニメ①		
	11	連続ラジオドラマ①			29	アニメ②		
	12	連続ラジオドラマ②			30	アニメ③		
	13	連続ラジオドラマ③			31	アニメ④		
	14	連続ラジオドラマ④			32	アフレコ作品読み	み合わせ	
	15	連続ラジオドラマ⑤			33	アフレコ作品読み	み合わせ	
	16	スタジオ機構、録音再生	E機材実習		34	アフレコ作品読み	み合わせ	
	17	スタジオ機構、録音再生	E機材実習		35	収録リハーサル		
	18	スタジオ機構、録音再生	E機材実習		36	収録・、まとめ		
		テスト		30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付
成績害	引合	学習態度•出席率	\$	60%				
		レポート		10%	J.	<b></b> 成績評価	出席率:80% S[90~100点] A[80~89	9点] B[70~79点] C[60~69
		合計		100%			点] D[59点以下は不合格	<b>š</b> ]
P/R/A/C 講師フ	プロ	宮崎誠二:スタジオえ	30% R≪実働実践型 つせんす代表。劇団曽 効果を担当。最新作は	犬申 主宰。			習≫30% G≪海外体感	型学習≫10% TV、ドラマCD、ゲーム

	シラバス								
科目名	7	応用ゼミ		担	当者	<b>当</b> 名	牛房 やよい、佐香 穣		
学 科		声優·演劇科		į	授業プ	方法	ゼミ		
認定単開講学		4単位 2学年	開講期 必・選	必選			授業時間数	72時間	
授業目			メントの枠だけでなく、社		のようた	な割を担ってい	いるかを理解する。		
授業目 (ラーニ アウトカル	ング	地域社会での演劇の	役割を理解する。エン	ターテインメ	ント業	界だけでない活	躍の場を知り、自身の選	択肢を広げる。	
授業概	既要		会、フィールドワークな				:げ、演劇をツールとした	社会貢献を行う。	
			授業内容	授業内容					
	1	演劇の役割とは1			19	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動1		
	2	演劇の役割とは2			20	演劇をツールとした社会貢献制作/活動2			
	3	演劇の役割とは3			21	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動3		
	4	演劇をツールとした社会	会貢献1		22	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動4		
	5	演劇をツールとした社会貢献2			23	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動5		
	6	演劇をツールとした社会貢献3			24	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動6		
	7	海外事例探求1			25	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動7		
授	8	海外事例探求2			26	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動8		
業計画	9	海外事例探求3			27	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動9		
画 表	10	講演会1			28	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動10		
	11	講演会2			29	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動11		
	12	テーマ選出1			30	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動12		
	13	テーマ選出2			31	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動13		
	14	テーマ選出3			32	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動14		
	15	グループ発表/レポート	^1		33	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動15		
	16	グループ発表/レポート	2		34	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動	まとめ ①	
	17	グループ発表/レポート	<b>`</b> 3		35	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動 す	きとめ②	
	18	前期まとめと後期へ向に	ナて		36	演劇をツールとし	た社会貢献制作/活動 す	きとめ③	
		テスト		30%	学	習FB方法	※前後期 成績表送	付 適宜おこなう	
成績害	自合	学習態度・出席率レポート	7	60%			出席率: 80%		
		合計		10%	J.	成績評価 S[90~100点] A[80~89点] B[70~ 点] D[59点以下は不合格]			
P/R/A/C	割合		30% R≪実働実践型:	l	A≪∃	上体的参加型学習	習≫30% G≪海外体感		
講師プロ フィール 担任: 牛房やよい									

				シラ	バ	ス				
科目名	_ <del></del>	フリープロジェクト	BII	担	上当る	者 名	千葉 輝子、天野 龍洋	<u> </u>		
学 科	ŀ	声優•演劇科		1	授業プ	方法	実習			
認定単開講学	.—	2単位 2学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	72時間		
授業目	· ·	今できることを増やす 業界だけでなく社会	- - で必要なスキル、プレセ	ンテーション						
授業目(ラーニ	ング	PCスキルを伸ばす、 コミュニケーション力	カのみならず、地域・社 広い視野を持つ、活躍 や調整能力を身に付け	星の場を広げ する	る		A ) & = Uplet ) and a % or			
アウトカス		■PC基礎を経てさら	っにスキルアップ、ビジ	ネスマナーふ	くめ、I	ごジネス文書や	会からの依頼に応える。 パワポ資料作成・発表等 ョンのボイスサンプル、セ			
			授業内容				授業内容			
	1	PC応用			19	PC応用				
	2	スタジオワーク			20	スタジオワーク				
	3	PC応用			21	PC応用				
	4	スタジオワーク			22	スタジオワーク				
	5	PC応用			23	PC応用				
	6	スタジオワーク			24	スタジオワーク				
	7	PC応用			25	PC応用				
授	8	スタジオワーク			26	スタジオワーク				
業計	9	PC応用			27	PC応用				
画表	10	スタジオワーク			28	スタジオワーク				
	11	PC応用			29	PC応用				
	12	スタジオワーク			30	スタジオワーク				
	13	PC応用			31	PC応用				
	14	スタジオワーク			32	スタジオワーク				
	15	PC応用			33	PC応用				
	16	スタジオワーク			34	スタジオワーク				
	17	PC応用			35	PC応用				
	18	スタジオワーク			36	スタジオワーク				
		テスト		10%	兴	習FB方法	※前後期 成績表送	付 適宜おさから		
成績害		学習態度•出席率	<u></u>	80%	7	HI DATA	小門以別以側以及	ロ 旭 吐4ツー/よノ		
75人//贝丁	ы П	レポート		10%	F	<b></b>	出席率:80% S[90~100点] A[80~8	9点] B[70~79点] C[60~69		
		合計		100%	,	2 4/2CH   IIII	点] D[59点以下は不合材			
P/R/A/C 講師フ	プロ	担任:牛房やよい 千葉輝子(PC応用):商社に 修など企業研修を行ってい 天野龍洋(スタジオワーク):	こて国内営業のアシスタントと 、る経験を活かし、実務で活 :1975年生まれ。神奈川県出	として、事務処理 かせるオフィス! 身。アニメ「地縛	里(商品の 巣作の指 シチ花・	)入出庫管理、見積 背導を心掛けている。 子くん」、吹き替えア	ニメ「おかしなガムボール」、ド	型学習≫10% と)の実務経験及び、新入社員研 ラマCD「抱かれたい男1位に脅され ー・ファンタジー」等に録音や調整		

				シラ	バ	ス			
科目名	各	フリープロジェクト	СП	担	当者	者 名	日高 俊樹、宮﨑 誠二	二、嶋 愛萌、佐香 穣、古谷	
学 科	ŀ	声優・演劇科		3	授業ス	方法	実習		
認定單開講学		3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	108時間	
授業目	目的	学びの集大成、総合	力、地域·社会貢献	•					
授業 l (ラーニ アウトカ.	ング	主体性、協働力、発	信力						
授業棚	既要	企画内容、講師等、	旬なプロジェクトを動か	し取り組んで	いく				
			授業内容				授業内容		
	1	プロローグ			19	プロジェクト 取り	)組み		
	2	プロジェクトミーティンク	,		20	プロジェクト 取り	0組み		
	3	プロジェクトミーティンク	,		21	プロジェクト 取り	0組み		
	4	プロジェクト 取り組み	プロジェクト 取り組み			プロジェクト 取り組み			
	5	プロジェクト 取り組み			23	プロジェクト 取り	0組み		
	6	プロジェクト 取り組み			24	プロジェクト 取り	0組み		
	7	プロジェクト 取り組み			25	プロジェクト 取り	0組み		
授	8	プロジェクト 取り組み			26	プロジェクト 取り	0組み		
業計	9	プロジェクト 取り組み			27	プロジェクト 取り	0組み		
画表	10	プロジェクト 取り組み			28	プロジェクト 取り	0組み		
	11	プロジェクト 取り組み			29	9 プロジェクト 取り組み			
	12	プロジェクト 取り組み	プロジェクト 取り組み			30 プロジェクト 取り組み			
	13	プロジェクト 取り組み			31	31 プロジェクト 取り組み			
	14	プロジェクト 取り組み			32	プロジェクト 取り	0組み		
	15	プロジェクト 取り組み			33	プロジェクト 取り	0組み		
	16	プロジェクト 取り組み			34	プロジェクト 取り	0組み		
	17	プロジェクト 取り組み			35	プロジェクト 取り	0組み		
	18	プロジェクト 取り組み			36	エピローグ			
		テスト		10%	兴	習FB方法	個々、グループ、適宜	ree.	
成績害	訓合	学習態度•出席率	Z	80%	7	自FD万伝	1回ペ、クルーフ、適日	LFD	
/-\/\!\!\!\!\		レポート		10%	J	<b>龙績評価</b>		9点] B[70~79点] C[60~69	
- 1-1	o dr	合計	050/	100%		N. 61. 66 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60 - 60	点] D[59点以下は不合格		
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》25% R《実働実践型学習》25% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》20%			いながら自らも俳優・演出家として						

科目名	7.	キャリア開	*	フハ	. 当 ፣	<b>岁</b>	キャリアヤン	ター 佐藤・沼田
77 日 7	<u> </u>	イ ヤリノ (刑3	元 1	1旦	. = 1	<u> </u>	4407 62	クー 佐藤・石田
学科	ŀ			ł	受業力	方法	講	養•実技
認定單 開講学		2 1年生	開講期 必・選	٤	通年 ど修逞		授業時間数	36コマ
授業目	目的	卒後VISIONに近づく一歩 [	目の就職を成功させる	る。社会に出	出た後	のキャリアを	形成する知識の醸成	0
授業目 (ラーニ アウトカ	ング	ビジネススキル (働くうえで,	必要な能力・技術)を	修得し、卒	後Vis	ionを叶えるた	こめの内定を得る。	
授業棚	既要	インターンシップ、就職活動に必要な知識とビジネスマナー 「選ばれる」力をつける。				テルを身に着	ける。ロールプレイを	通じ、体得する。「選ぶ」
		授	業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	オリエンテー	ション	
	2	キャリアについて考える I			20	卒後visionを	磨く	
	3	キャリアについて考えるⅡ			21	就活の軸を考	きえる	
	4	社会探究の重要性について	きえる		22	社会人として	の心構え	
	5	自己探究 I			23	SDGsとこれからの働き方について考える		
	6	自己探究Ⅱ			24	就職活動につ	ついて考える	
	7	グローバルとキャリアについて I			25	就活と生成A	Iツールの活用について	ī I
授	8	グローバルとキャリアについてⅡ			26	就活と生成A	Iツールの活用について	Ţ II
業計	9	インターンシップについて考え	-3 I		27	特別講座に向	句けて準備	
画表	10	インターンシップについて考え	_3 II		28	履歴書の書き方について		
	11	WEBテスト(自己探究)			29	社会人マナー復習		
	12	卒後Visionを振り返る			30	自己プロデュースをやってみよう		
	13	インターンシップ準備			31	プレゼンテーションをやってみよう		
	14	特別講座と社会探究について	-		32	グループディ	スカッション練習	
	15	インターンシップ振り返り			33	グループ面接	接練習	
	16	グループディスカッション練習	1		34	卒後VISION	の確認	
	17	自己目標の振り返り			35	自己目標の拡	長り返り	
	18	上期の振り返り・下期目標設定	È		36	下期・1年の打	<b>辰り返り</b>	
		卒後ビジョンの提出		70%	<b>*</b>	習FB方法	確認アンケート 声埣	練習、履歴書作成にてFB
成績害	削合	確認テスト(Forms)		30%	7	TELID/J/G		休日、 復正日  戸以にて1.0
		合計		100%	<i>)</i>	<b>成績評価</b>	S90~100点 A80 C60~69点 D59	)~89 B70~79点 点以下は不合格
P/R/A/0	P/R/A/G割合 ■P≪課題		· 40 % ■R≪実働実践型	型学習≫ 20 %	o ■A	《主体的参加型	学習≫ 30% ■G≪海外(	体感型学習≫ 10 %
講師プ								

	ン フ バ ス									
科目名	Ξ	キャリア開	発 I	担	. 当 者	音名	キャリアセンタ・	一 宮鍋・井上		
学 科	ŀ			1	受業力	法	講義・	実技		
認定単		2	開講期		通年		授業時間数	36コマ		
開講学		1年生	必・選		<b>必修</b> 選	択				
授業目		卒後ビジョンを描く(磨く)た	めの知識の醸成と経	験の蓄積						
授業 (ラーニ アウトカ	ング	ありたい姿の確立と達成する	るための経験・スキル	を身に着け	ける					
授業棚	既要	インターンシップなど社会将体得する。「選ぶ」「選ばれ		゛ジネスマナ	·一、>	スキルを身に	着ける。ロールプレイを	通じ、		
		授	業内容				授業内容			
	1	オリエンテーション①			19	オリエンテー	ション②			
	2	自分の理想の人生を考える①	)		20	学生と社会丿	の違い			
	3	自分の理想の人生を考える②	)		21	学び探究の重	重要性①			
	4	自己探究の重要性①			22	学び探究の重	重要性②			
	5	自己探究の重要性②			23	テクノス祭の活用①				
	6	社会探究の重要性①			24	テクノス祭の	活用②			
	7	社会探究の重要性②			25	大学コースの	)価値②			
授	8	グローバルな働き方①			26	インターン対	策③			
業計画	9	グローバルな働き方②	グローバルな働き方②			インターン対	策④			
画 表	10	大学コースの価値①			28	8 テーマ別グループワーク①				
	11	WEBテスト			29	テーマ別グループワーク②				
	12	インターン対策①			30	テーマ別グル	ノープワーク③			
	13	インターン対策②			31	テーマ別グル	ノープワーク④			
	14	卒後ビジョンとキャリア(就職)	①		32	テーマ別グバ	ノープワ <i>ー</i> ク⑤			
	15	卒後ビジョンとキャリア(就職)	2		33	卒後VISION:	ブラッシュアップ②			
	16	卒後VISIONブラッシュアップ(	D		34	下期・1年の打	辰り返り			
	17	上期の振り返り・下期目標設定	Ē		35	具現抽象トレ	ーニング②			
	18	具現抽象トレーニング①			36	具現抽象トレ	ーニング③			
		卒後ビジョンの提出		70%	学	習FB方法	アンケート、面接練習、			
成績害	副合	確認テスト(Forms)		30%	,		履歴書作成にてFB			
一个人们只口	4П	合計		100%	月	<b>戈績評価</b>	S90~100点 A80~8 C60~69点 D59点以			
P/R/A/0	つました		> 40 % ■D//安學字時中		′ <b>=</b> A -	《主体的参加部	<b>┃</b> 学習≫ 30% ■G≪海外体愿	<b>龙刑学羽≫ 10 0</b> /		
講師プ	プロ	■1、□M四开价土于目/	- □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	_ 1 = // _ 20 //	_ <b>_</b> A`	、工压+ <b>J</b> 参加王·	,山〃 □∪ □□ □□(平/下)中型	o1 □ // 10 //		

	シラバス 						
科目名	各	一般常識 I	担	. 当 君	音名	松木 芳文	
学 科	ŀ		i	授業方法 講義		講義	
認定単開講学		2単位     開講期       1学年     必・選				授業時間数 36時間	
授業目	<u> </u>	社会で必須となる一般常識を、数学・国語・社会の		する。			
I - Mr.		"数学 高校数学までの単元の中で、社会人とし	ナルエナファッチャ	v == →.	田 l- lo マ をnきか l	- BA7田44日 北小 4・ 巻こ	
授業! (ラーニ アウトカ・	ング	"数学 高校数学までの単元の中で、社会人とし 国語 コミュニケーションに欠かせない国語の基 社会 社会生活に必要な地歴公民の基本的な知	本的な知識や教養を	習得了		<b>論理的必有能力を養</b> り。	
授業概	既要	″数学 必要不可欠な知識を盛り込んだオリジナ 国語 漢字の読み書きを基本として、慣用句、こ 社会 日本地理・世界地理、日本史・世界史、思	とわざや敬語の習得	習得と世界文学や日本文学常識を身に着ける。			
		授業内容				授業内容	
	1	「数学」オリエンテーション一般常識「国語」「社会」オリニ	エンテーション	19	速さの文章問題	頁(2)日本文学	
	2 数の計算漢字一字の読み			20	規則性などの文	て章問題(1)世界文学	
	3	式の計算二字熟語の読み			規則性などの文	て章問題(2)国語 成績判定試験(2)	
	4	数と量の文章問題(1)慣用語の読み			場合の数(1)民主主義		
	5	因数分解(1)常用漢字外の読み			場合の数(2)日	本国憲法	
	6	因数分解(2) 漢字一字の書き取り			確率(1)国際社	会	
	7	約数と倍数二字熟語の書き取り			確率(2)資本主	義経済・企業	
授	8	平方根の計算(1)同訓異字の書き取り			数学 後期成績	g判定テスト(1)国民経済・日本の経済	
業計画	9	平方根の計算(2)同音異義語の書き取り(1)			数と式の計算	復習テスト貨幣・金融・財政	
声表	10	数学 前期成績判定テスト(1)同音異義語の書き取り(2	)	28	方程式と不等式	、復習テスト(1)社会 成績判定試験(1)	
	11	1次方程式、連立方程式国語 成績判定試験(1)		29	方程式と不等式 復習テスト(2)日本史(1)		
	12	2次方程式対義語・類義語の書き取り		30	総合文章題 復	『習テスト(1)日本史(2)	
	13	不等式似形異字の書き取り		31	総合文章題 復	[習テスト(2)世界史	
	14	数と量の文章問題(2)書き誤りやすい漢字		32	関数とグラフ 後	复習テスト日本地理	
	15	割合の文章問題(1)同字異音・同字異訓の読み書き		33	場合の数と確率	区(1)世界地理	
	16	割合の文章問題(2)四字熟語の読み書きと意味		34	場合の数と確率	©(2)思想·社会·文化	
	17	数学 前期成績判定テスト(2)故事成語・諺・慣用句・金	言の完成と意味	35	数学 後期成績	<b>背判定テスト(2)社会 成績判定試験(2)</b>	
	18	速さの文章問題(1)語句の読みと意味		36	まとめ		
		テスト	"數学 80% 图题+社会 80%"	学	習FB方法	"数学 前期·後期 成績表送付	
成績害	割合	学習態度・出席率	"數学 10% - 四時- 社会 10%"			国語·社会 前期·後期 成績表送付"	
		レポート	報告 5.5.提出 NV (指揮等) NV.	J.	<b>龙績評価</b>	S:90-100, A:80-89, B:70-79, C:60-69 ,D:0-59	
D /D /			100%		A A LATINA		
P/R/A/( 講師: フィー	プロ	P《課題解決型学習》 R《実働実践型学習》 A 慶応義塾大学経済学部。大手金融機関で金融全 語、社会の講師を勤める。			海外体感型学習	g ≫ ア銀行設立業務にも参画する。他、数学、英語、国	

科目名	Ż	大学支援 総合 I		担	1.当 和	省 名	楳村 麻里子	
学 科	ŀ			3	授業力	方法	講義	
認定単開講学	·	4単位 1学年	開 講 期 必・選	選択	選択		授業時間数	72時間
授業目	目的	産業能率大学通信課程の基礎・	専門科目(全7科目)の単	単位取得に必	要な学	習支援を行う。		•
授業 (ラーニ アウトカ.	ング	産能大のレポート・試験への取り	組み方の基本を学び、経	営・マネジメ	ントの基	も礎・専門科目を	を総合的に学びながら単	位修得を目指す。
授業棚	既要	2024年度科目			った上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 ルの書き方」「情報分析力を鍛える」「考える力をつける」「企画力を強化す			
		授	業内容				授業内容	ş
	1	オリエンテーション①産業能率大学通信	制とリポート&試験		19	情報分析力を鍛え	.30	
	2	オリエンターション②リポート作成のポイン	ターション②リポート作成のポイント①			情報分析力を鍛え	.52	
	3	オリエンテーション③年間の取組計画			21	情報分析力を鍛え	.53	
	4	ビジネス文書&メールの書き方①			22	考える力をつける①		
	5	ビジネス文書&メールの書き方②			23	考える力をつける	2	
	6	ビジネス文書&メールの書き方③			24	考える力をつける	3)	
授	7	社会人の常識とマナー①			25	企画力を強化する	0	
授業	8	社会人の常識とマナー②			26	企画力を強化する	2	
計	9	社会人の常識とマナー③			27	企画力を強化する	3	
画 表	10	コミュニケーション論①			28	自由が丘とブラン	由が丘とブランディング①	
10	11	コミュニケーション論②			29	自由が丘とブラン	ディング②	
	12	コミュニケーション論③			30 自由が丘とブランディング③			
	13	評論読解と要約のポイント①			31 リボート作成のポイント③			
	14	評論読解と要約のポイント②			32	評論読解と要約の	ポイント③	
	15	リポート作成のポイント②			33	論理と文章構成②	)	
	16	論理と文章構成①			34	後期内容振返り		
	17	前期内容振返り			35	年間内容振返り		
	18	後期リポート作成計画			36	まとめ		
		テスト		なし	27.4	習FB方法	前期後期成績発表	
_L\+.	n	学習態度•出席率		50%	子	首FB万伝	削别饭别风稹笼衣	
成績害	刊台	レポート		50%		-	出席率80%以上	
		合計		100%	): 	<b></b>	S90~100 A80~89 B7 D59以下は不合格	70~79 C60~69
P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》25% R《実働実践型学習》25% A《主体的参加型学習》25% G《海外体感型学習》25%								
講師コフィー								

	シラバス							
科目名	<b>占</b>	大学支援 総合 I		担	. 当 和	音名 二	吉田 緑	
学 科	ŀ			ł	授業方法 講義			
認定単開講学	·	4単位 1学年	開講期 必・選	選択			授業時間数	72時間
授業目			<b>と</b> 教育課程の編入を目指す	学生等に課	果せられたレポート課題対策および法律学習の支援を目的とする。対		Ⅰ ☑援を目的とする。対象科目は	
授業 l (ラーニ アウトカ	ング	①レポートを提出し、実際に合格 ②法律学習に限らず「自分のことを目標とする。	*させること		すること	:		
授業棚		①法律を学ぶにあたって必要な 意の読み解き方等を学ぶ。 スクーリングや試験に合わせてお			判例の	読み方、③リサ	・ーチ方法、④レポートを	書く際の作法、⑤レポートの題
		授	業内容				授業内容	<u> </u>
	1	オリエンテーション			19	刑法(各論):第	2課題	
	2	オリエンテーション			20	刑法(各論):第	2課題	
	3	法律学習の基礎: ①条文の読み方②教科書を含む基本書の読み方③題意 を把握する			21	民法(債権総論	):第1課題	
	4	法律学習の基礎: ①条文の読み方(を把握する	②教科書を含む基本書の読	その方③題意	22	民法(債権総論):第1課題		
	5	レポートの書き方①			23	民法(債権総論):第2課題		
	6	レポートの書き方②			24	民法(債権総論	) : 第2課題	
	7	課題の題意把握			25	民法(債権各論	) : 第1課題	
授業	8	課題の題意把握			26	民法(債権各論	) : 第1課題	
計画	9	憲法: 第1課題			27	民法(債権各論	) : 第2課題	
表	10	憲法:第1課題			28	民法(債権各論):第2課題		
	11	憲法: 第2課題			29	憲法(残りの課題)		
	12	憲法:第2課題			30	刑法(残りの課題	<b>題</b> )	
	13	刑法(総論):第1課題			31	刑法(残りの課題	<u>頃</u> )	
	14	刑法(総論):第1課題			32	民法(残りの課題	題)	
	15	刑法(総論):第2課題			33	民法(残りの課題	題)	
	16	刑法(総論):第2課題			34	結果報告		
	17	刑法(各論):第1課題			35	まとめ		
	18	刑法(各論):第1課題			36	まとめ		
		テスト 学羽能度・山産家		0%	学	習FB方法	随時指導する。前期・	·後期成績表送付。
成績害	削合	学習態度・出席率レポート		80% 20%			出席率80%以上	
		合計				<b>战績評価</b>	S90~100点、A80~89点 点以下は不合格	ī、B70~79点、C60~69点、D59
P/R/A/0	P/R/A/G割合 P《課題解決型学習》100% R《実働実践型学習》10% A《主体的参加			·《主体的参加	型学習	≫60% G≪海;	外体感型学習≫0%	
講師フィー		他大学他学部より中央大学法学 他専門学校・大学等でも講師(是						

			<u></u>	/ ラ バ	ス			
科目名	Ż	大学支援 総合 I		担	. 当 君	<b>全</b>	高木 佳子、原 祥	
学 科	ŀ			ž	受業力	方法	講義	
認定単開講学	·	4単位 1学年	開講期 必・選	選択			授業時間数	72時間
						± /4 0 III /= DIE	b) ~ /	
授業目	目的	日大英文科で二年次に修得すべ		文字史とイギリ	ス文字	史(18世紀以降	(4)の知識の習得と理解を	:目指す。
授業目 (ラーニ アウトカ	ング	具体的には以下の科目の単位取・イギリス文学史Ⅱ(4単位) ・アメリカ文学史(4単位)	文得を目指す。 					
授業概	既要	基本的には毎回配布するプリン (研究社)に加え、適宜副次資料 また、同時進行で言及した作家の	を配り、理解の助けとする				<b>学史Ⅱ</b> 』《日本大学通信教	(育学部)、『アメリカ小説入門』
		授	業内容				授業内容	<u> </u>
	1	スケジュール説明:レポート期限、テスト其 ・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概:			19	論文を読む。Then (『緋文字』)	ne, 先行研究、Thesis statemen	tに着目する。
	2	・イギリス文学史(ロマン主義):歴史的概: ・トリコロール(自由・平等・博愛)	要2(フランス革命の影響)		20	ア刈カ文学史⑤~	⑧までの小テスト	
	3	・イギリス文学史①(ロマン主義・詩)ワーズワース、コールリッジ			21		ポストモダンの時代 i トリンジャー、ビートジェネレーシ	/ョン、アーサー・ミラーなど
	4	・イギリス文学史②(ロマン主義・詩)バイに	ドリス文学史②(ロマン主義・詩)パイロン、シェリ、キーツ				ポストモダンの時代 ii ーウィリアムズ、ヴォネガット、ア	ップダイク、アーヴィングなど
	5	イギリス文学史③(ロマン主義・小説)スコア刈カ文学史:歴史的概要	ット、オースティン		23	ア刈カ文学史⑪ マイノリティ文学、公民権運動 ボールドウィン、アリス・ウォーカー、トニ・モリスン、ナボコフ、ピンチョンなど		
	6	アメリカ文学史① 植民地時代 (ピューリアン・ブラッドストリート、エドワーズ、ベン		24	アメリカ文学史⑨~	-⑪までの小テスト		
	7	アメリカ文学史② 独立期から西漸運動 ブラウン、アービング、クーパー、エドガー				イギリス文学史4	ヴィクトリア朝時代 i …ディケン	/ズ、サッカレー、プロンテ姉妹
授	8	アメリカ文学史③ 独立期から南北戦争ま エマソン、メルヴィル、ホーソン、ホイットマ				イギリス文学史⑤	ヴィクトリア時代 ii …エリオット	、メレディス、ギャスケルら
業計画	9	アメリカ文学史④ 南北戦争から第一次プオールコット、マークトゥエイン、ハウエル			27	イギリス文学史⑥ ヴィクトリア時代 ※・・・・テニスン、ブラウニングなど詩人連		
画 表	10	書籍資料を参考にして、Adventures of H 景)を考えてみる。	uckleberry Finn の特徴(文体	·内容·時代背	28	イギリス文学史⑦ 第一次世界大戦とその周辺 i …ハーディ、ヘンリージェイムズ、コ ラッド、キブリングなど多数		
	11	イギリス文学史①~③ アメリカ文学史①~ <b>④</b> までの小テスト			29	イギリス文学史⑧ 第一次世界大戦とその周辺 ii …作家: H.Gウェルズ、スティーブ: ン、コナン・ドイル。 詩人: ホプキンス、イェイツ		
	12	アメリカ文学史⑤ 第一次大戦と海外膨行 ノリス、クレイン、ドライサー、ジャック・ロン			30	イギリス文学史⑨ 第一次世界大戦とその周辺 ii・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	13	ジャック・ロンドンTo Build a Fireの読解			31	イギリス文学史⑪ フ、ジェイムズ・ジョ		戦争と歴史。作家:ヴァージニア・ウル
	14	アメリカ文学史⑥ モダニズムの時代…沿 キャザー、エズラ・パウンド、ウィリアム・ウィ	リアムズ、ヘミングウェイなど。		32	作家:ロレンス、オ・	第二次世界大戦から現代まで ーウェル、グリーン、ゴールディ	
	15	アメリカ文学史⑦ モダニズムの時代…沿 フォークナー、フロスト、バーンズ、ハース	トン、ラングストン・ヒューズなど		33	文学研究の「テー "人種(Race)"		
	16	アメリカ文学史⑧ モダニズムの時代…シフィッツジェラルド、ハメット、スタインベック	ウ、リチャード・ライトなど。		34	文学研究の「テー "社会階級 (Social	Class)"	
	17	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis s (『ハックルベリーフィンの冒険』)			35	文学研究の「テー "性差(Gender)"		
	18	論文を読む。Theme, 先行研究、Thesis s (『ロミオとジュリエット』)	tatementに着目する。		36	文学研究の「テー・ "セクシュアリティ(So		
		テスト 学習態度・出席率		50パーセント	学	習FB方法	レポート課題添削、日評、試験結果等	大からのレポート課題講
成績害	削合	子首態及・山涌学						
		ンボート     50パーセント       合計     100%			J.	<b>战績評価</b>	科目習得試験取り組み状	況、学習態度・出席状況
P/R/A/0					学習》		I K感型学習≫30	
講師コフィー	プロ	P《課題解決型学習》30 R《実働実践型学習》10 A《主体的参加型学習》30 G《海外体感型学習》30 東京学芸大学・教育学研究科英語教育(英米文学)課程の修士号を取得。 都立の定時制高校ほかで英語講師を14年務めてきた。						

科目名	Ä	英語基礎 I	<u> </u>	担	当者		鈴木 良		
学科	ŀ			1	受業力	方法			
認定単開講学		2単位 1学年	開 講 期 必・選	必選			授業時間数	36時間	
授業目	目的	大学コース日大国文学専攻の学	生が、卒業に必要な英語	F科目8単位の	)うち、:	2単位を修得でき	きる英語力を身につける。		
授業 F (ラーニ アウトカル	ング	1. 日大通信教育「英語基礎」2単 2. 日大通信教育「英語基礎」2単							
授業棚		教科書の理解、小テスト、定期記	験、レポート課題作成、利	科目修得試驗	対策				
		授	業内容				授業内	容	
	1	Unit 1			19	Unit 8			
	2	Unit 1			20	Unit 8			
	3 Unit 1			21	Unit 8 小テスト、	Unit 10			
	4 Unit 1				22	Unit 10			
	5	Unit 1			23	Unit 10			
	6	Unit 4			24	Unit 10			
	7	Unit 4			25	Unit 10 小テスト	Unit 12		
授	8	Unit 1 小テスト、Unit 4			26	Unit 12			
業計	9	Unit 4			27	Unit 12			
画 表	10	Unit 4			28	Unit 12			
	11	Unit 4 小テスト、Unit 6			29	Unit 12 小テスト	Unit 13		
	12	Unit 6、レポート作成			30	Unit 13			
	13	Unit 6、レポート作成			31	Unit 13			
	14	Unit 6、レポート作成			32	Unit 13			
	15	Unit 6			33	Unit 13 小テスト			
	16	前期期末試験			34	まとめ			
	17	Unit 8			35	後期期末試験			
	18	Unit 8			36	試験返却			
		テスト		45%	学	習FB方法	口頭		
成績害	削合	学習態度•出席率		30%					
, , , , ,		レポート		25%	J.	<b>战績評価</b>	小テスト、定期試験(前期・	・後期)、平常点、レポート提出	
合計 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100% 100									
講師プ	プロ	英文学、英語学を専門とし、日ナ							

		3	ンラバ	ス			
科目名	名	大学支援 総合 I	担	当者	章名	高木 佳子	
学科	ŀ		į	授業力	法	講義 # 世 眼 ** 70世 明	
認定単開講学		4単位     開講期       1学年     必・選	選択			授業時間数	72時間
授業目	目的	国文学の専門知識の習得とともに、各科目の単位修得に	こおけるリポー1	►作成の	)技術の習得も	目指していく。	
授業目		古代から近代に至る日本文学の各ジャンルにおける専門	門的知識と課題	5を把握	■し、日本大学の	の各科目試験の単位修得	<b>鼻に必要な知識を身につけてい</b>
アウトカ		ζ <sub>0</sub>					
授業概	既要	日本大学における「国文学基礎講義」、「国文学概論」、 て、提出期限を把握し、科目修得試験に向けて、計画的			の3教科の単位に	修得に必要な、各科目こ	どの2つのリポート提出につい
		授業内容				授業内容	<b></b>
	1	授業オリエンテーション 1年次履修科目について		19	連歌の形式		
	2	授業オリエンテーション 履修科目のリポート課題提出について		20	俳諧の歴史		
	3	授業オリエンテーション 履修科目の試験、および過去問について		21	芭蕉の文学		
	4	国文学科目概要・講義概説		22	謡曲の種類		
	5	「国文学基礎講義」リポート課題概説 リポート作成に向けて			「国文学講義」I(上代) 課題1 リポート作成に向けて		
	6	『日本古典文学』 第1章 古代(一記紀と風土記を読む			について。		成に向けての、『万葉集』「宴席歌
	7	「国文学基礎講義」課題1 リポート作成			「国义学講義」 I 「宴席歌」の選定		水
授	8	『日本古典文学』第7章 近世(一近松と西鶴の文学を読む			『万葉集』の「宴	席歌」について	
業計画	9	「国文学基礎講義」課題2 リポート作成に向けて		27	「国文学講義」I	〔(上代)課題2 リポート作	成に向けて
画 表	10	「国文学基礎講義」課題2 リポート作成		28	8 『万葉集』「宴席歌」から 田辺福麻呂の歌 巻18(4032~4035)		
	11	「国文学概論」リポート作成に向けて		29	『万葉集』「宴席歌」から 橘諸兄の歌 巻17(3926左)		
	12	『国文学概論』(第二分冊) 物語文学		30	『万葉集』「宴席歌」 藤原朝臣仲麻呂の歌から 巻20(4242・4487)		
	13	「国文学概論」課題1 リポート作成		31	『万葉集』「宴席	歌」から 巻17(3943~39	55)の宴席歌群について
	14	『国文学概論』(第四分冊)近代文学		32	『万葉集』「宴席	歌」から 大伴坂上郎女の	歌 巻4(585・651・652)
	15	「国文学概論」課題2 リポート作成		33	『万葉集』の宴席	まを考える <del></del> 梅花の宴を通り	CT
	16	『古今和歌集』 国風暗黒時代・「真名序」・「二聖」・「六歌仙」		34	『国文学講義』1	(上代) レポート課題の作成	え・提出に向けて
	17	鴨長明と兼好『方丈記』・『徒然草』		35	授業まとめ/振り	)返り	
	18	『新古今和歌集』 後鳥羽院と藤原定家・『新古今和歌集』の編纂・新古今歌風		36	授業まとめ/振り	)返り	
		テスト	40%		習FB方法	前期・後期 答案返去	ĘŪ
成績害	割合	学習態度・出席率	30%			出席率80%以上	
		レポート     30%       合計     100%			战績評価		試、B70~79点、C60~69点、D59
P/R/A/0	G割合			加型学	B≫30% G≪i		
講師プ		P《課題解決型学習》30% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加 元昭和女子大学准教授(日本古典文学 和歌文学)					

			シラバ					
科目名	名	キャリア開発Ⅱ	担	当当	者名	担	H任	
学 科	+		:	授業	方法	講義	·実技	
認定單開講等		2 開講期 2年生 必・選		通 <sup>左</sup> 必修3		授業時間数	36コマ	
授業目	目的	卒後VISIONに近づく一歩目の就職を成功させ	せる。社会には	出た後	でのキャリアを	キャリアを形成する知識の醸成。		
授業  (ラーニ アウトカ	ング	ビジネススキル(働くうえで必要な能力・技術)	を修得し、卒	後Vis	ionを叶えるス	ための知識・経験を積む	P <sub>o</sub>	
授業机	既要	社会生活に必要な知識とビジネスマナー、ス	キルを身に着	うける。	ロールプレ	イやフィールドワークなと	ざを通じ、体得する。	
		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション・就活状況の確認			後期の講義	内容に関して&個人面	<b>訂談</b>	
	2	内定後の過ごし方&個人面談①			挨拶・マナー	一①報連相・PDCAサイ	クル	
	3	一般常識ワーク&個人面談②			一般常識ワ	ーク&個人面談①		
	4	ビジネス書読書&個人面談③		22	一般常識ワ	ーク&個人面談②		
	5	【自習】目指す業界の未来を考える&個別面	を考える&個別面談			<b></b> 小 小 小 小 一 小 一 が 3 一 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に 。 に 。 に る に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に 。 に に に に に に に に 。 に 。 に に に に に に に に に に に に に		
	6	【自習】企業研究(国内外)&個人面談	&個人面談			ョン(OBOGを招いて:	社会人予備軍対象)	
	7	目指す業界の未来を発表する	ける			った課題に関するワー	ク	
授	8	【自習】第二志望の業界を調べる&個人面談	調べる&個人面談			標設定①		
業計	9	【自習】夢の根っこの共通職種・業界を考える&個人面談			就職後の目	標設定②		
画表	10	社会人基礎力①前に踏み出す力(グループ) 人面談	7ーク) &個	28	コミュニケーションスキル①聴く力			
	11	社会人基礎力②考え抜く力(グループワーク 談	) & 個人面	29	コミュニケーションスキル②理解する力			
	12	社会人基礎力③チームで働く力(グループワ 面談	ーク) &個人	30	コミュニケーションスキル③伝える力			
	13	海外で働くことをイメージ		31	個人面談④ 卒後ビジョンを基に			
	14	一般常識ワーク&個人面談④		32	個人面談⑤ 卒後ビジョンを基に			
	15	一般常識ワーク&個人面談⑤		33	個人面談⑥	)卒後ビジョンを基に		
	16	前期 振り返りと課題発見		34	確認テスト・	まとめ1		
	17	後期の課題解決に向けたGD		35	確認テスト・	まとめ2		
	18	前期 振り返り		36	確認テスト・	まとめ3		
		卒後ビジョンの提出	70%	) 学	·習FB方法	確認アンケート 面接組	i習、履歴書作成にてFB	
成績割	訓合	確認テスト(Forms)	30%		H. 2///IA			
		合計	100%			S90~100点 A80~ C60~69点 D59点		
P/R/A/G割合 ■P《課題解決型学習》 40 % ■R《実働実践型学習》 20 % ■A《主体的参加型学習》 30% ■G《海外体感型学習》 10 %			感型学習≫ 10 %					
講師フィー								

科目名	Ż	キャリア開		担	当者	首名	キャリアセンタ	
学 科	ļ.			1	受業力	 7法	講義	<b>·</b> 実技
認定單開講学	年	2 2年生 卒後ビジョンを明確化する	開講期 必・選		通年 必修選		授業時間数	36⊐マ
授業目 (ラーニ アウトカム	ョ標 シグ	ビジネススキル (働くうえで				ionを磨く。		
授業棚	既要	インターンシップ、就職活動 「選ばれる」力をつける。	かに必要な知識とビジ	ネスマナー	-、スキ	テルを身に着	ける。ロールプレイを運	通じ、体得する。「選ぶ」
		授	業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション ①アイイスブレイク ②知識ア	ンケート		19	オリエンテー: 前期の振り返		
	2	職業観の醸成(3名のレンガ職人)			20	社会人基礎	力の確認	
	3	社会探究がなぜ必要か			21	自己探究 モ	チベーショングラフ 自	分の価値観
	4	大学コースの強み			22	社会人のコミ	ュニケーションとは	
	5	社会探究の方法 ヒント			23	学生が企画する授業①		
	6	インターンシップの目的 期間と時間 活用 選び方 探し方			24	学生が企画で	ける授業②	
	7	インターン対策①履歴書編			25	冬のインター	ンシップの準備	
授	8	グローバルな働き方			26	図書館 感銘	るを受けた本ワーク	
業計	9	職業人講話			27	ガクチカを具	体的に表現する方法	
画 表	10	インターン対策 ルールマナ・	一編&自己探究		28	自己PR 動画作成		
	11	インターン対策 面接編			29	オンライン面接の練習		
	12	夏のインターン報告会趣旨説	明		30	Gディスカッション練習		
	13	インターン計画			31	Gワーク練習		
	14	夏のインターン報告会			32	エントリーシー	-トの書き方	
	15	自己探究 自分から見	た強み 社会から見た	強み	33	冬のインター	ン報告会	
	16	先輩に学ぶ			34	自分のありた	い姿、磨き直しワーク	
	17	社会探究ワーク			35	自分のありた	い姿、磨き直しワーク	
	18	社会探究ワーク			36	自分のありた	い姿、磨き直しワーク	
		卒後ビジョンの提出		70%		Words.	76-37-20	+77
成績害	列合	確認テスト(Forms)		30%	字	習FB方法	傩祕 バングート、 面接線	東習、履歴書作成にてFB
, , , , , ,		승計	100%		成績評価 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格			
P/R/A/0	G割合	■P《課題解決型学習》 40 % ■R《実働実践型学習》 20 % ■A《主体的参加型学習》 30% ■G《海外体感型学習》 10 %						
講師プ								

<i>_</i>		An Marth. —		/ フ バ		led by			
科目名	<u> </u>	一般常識Ⅱ		担	. 当 君	育名	松木 芳文		
学 科	ŀ			ž	授業方法 講義				
認定単	·	2単位	開講期	795+0			授業時間数	36時間	
開講学		2学年	必・選	選択					
授業目	目的	社会で必須となる一般常識を、教							
授業目 (ラーニ アウトカノ	ング	国語 コミュニケーションに欠か	中で、社会人として生活・ ・せない国語の基本的な外 公民の基本的な知識や参	田識や教養を	習得了		論理的思考能力を養う。		
授業概	既要		盛り込んだオリジナルテキン として、慣用句、ことわざら 1本史・世界史、思想・文イ	や敬語の習得	と世界	文学や日本文学	学常識を身に着ける。		
		授	業内容				授業内容	Ž	
	1	オリエンテーション			19	数学 中間テスト	1回目 国語	語句の読みと意味	
	2	オリエンテーション			20	数学 中間テスト	-2回目 国語	日本文学	
	3	オリエンテーション			21	数学 中間テスト	-2回目 国語	日本文学	
	4	国語 オリエンテーション 数学 百分率・歩合			22	数学 百分率・5	数学 百分率·歩合·速度 国語 成績判定試験		
	5	数学 速度 国語 漢字の読み・諺			23	数学 単位·比例	学 単位・比例と比例式 社会 民主主義		
	6	数学 単位 国語 授業のみ			24	数学 小テスト	社会 日本国憲治	去	
	7	数学 比と比例式 国語 漢字の読み・諺			25	数学 倍数·約数	故 社会 国際社会	÷	
授	8	数学 倍数·約数 国語 慣用語·常用漢字外			26	数学 因数分解	社会 資本主義	€経済·企業	
業計	9	数学 因数分解 国語	漢字一字の書き取り		27	数学 小テスト	社会 国民経済・	日本の経済	
画 表	10	数学 一次方程式 国語	二字熟語の書き取り		28	数学 一次方程	式・連立方程式 社会 負	貨幣・金融・財政	
	11	数学 連立方程式 国語	同訓異字の書き取り		29	数学 二次方程式 社会 日本史(近世·近代·現代)		近世・近代・現代)	
	12	数学 二次方程式 国語	同音異義語の書き取り		30	数学 小テスト	社会 世界史		
	13	数学 図形の面積 国語	同音異義語の書き取り		31	数学 図形の面	積 社会 日本地球	理	
	14	数学 図形の体積 国語	対義語・類義語の書き取り		32	数学 図形の体	積 社会 世界地球	型	
	15	数学 一次関数 国語	似形異字の書き取り		33	数学 小テスト	社会 思想•社会	・文化	
	16	数学 二次関数 国語	書き誤りやすい漢字		34	まとめ			
	17	数学 場合の数 国語	同字異音・異訓の読み書き		35	まとめ			
	18	数学 確率 国語 匹	字熟語の読み書きと意味		36	まとめ			
		テスト		数字 60% 图第-社会 80%	学	習FB方法	成績通知		
成績害	訓合	学習態度•出席率		数学 40% 問題・社会 0%	- J	HI DAK	/A/I및 시크 AH		
八八八月百	иД	レポート		概定 * 2. 10 2 4 5 10 4 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	F	<b></b> 龙績評価		E B70∼79点 C60∼69点 D59	
		습計 100%			- 「息以下は小台橋				
P/R/A/C	G割合	P《課題解決型学習≫25% R≪身	厚働実践型学習≫25% A≪	《主体的参加》	型学習〉	≫25% G≪海外	体感型学習≫25%		
講師プ		"数学担当 最終学歴:岩 国語・社会担当 最終学歴:慶 国語・社会の講師							

科目名	Ξ.	特別講座2A 大学支援 総合Ⅱ		担	1 当 者	首 名	若林 芳勝	
学 科				į	授業力	7法	講義	
認定単	位位	4単位	開講期				授業時間数	72時間
開講学	年	2学年	必・選	選択			50 500 1 100 500	
授業目	的	産業能率大学通信課程の基礎・	専門科目(全8科目)の単	位取得に必	要な学	習支援を行う。		
授業 (ラーニ アウトカ	ング	産能大のレポート・試験への取り	組み方の基本を学び、経	営・マネジメン	ノトの基	- 礎・専門科目を	総合的に学びながら単位	2修得を目指す。
授業棚	既要	2024年度科目	里学」「人材マネジメント論		テった上、大学科目修得試験合格に必要な受験対策を実施する。 トリートファッション論」「企業家に学ぶ経営」「地域コミュニティ活動と社会貢献」			,,,,, =,= , = 0
		授	業内容				授業内容	
	1	オリエンテーション			19	講義		
	2	オリエンテーション			20	講義		
	3	講義			21	講義		
	5	講義				講義		
	5	講義		23	講義			
	6	講義		24	講義			
	7	講義		25	講義			
授業	8	講義		26	講義			
計	9	講義			27	講義		
画表	10	講義			28	講義		
	11	講義			29	講義		
	12	講義			30	講義		
	13	講義			31	講義		
	14	講義			32	講義		
	15	講義			33	講義		
	16	講義			34	講義		
	17	定期試験に向けて総まとめ			35	定期試験に向け	けて総まとめ	
	18	定期試験に向けて総まとめ			36	定期試験に向け	けて総まとめ	
		テスト		なし	学	習FB方法	前期後期成績発表	
成績害		学習態度·出席率		50%	于	自口力伝	刊朔仮朔风順光衣	
八人小貝百	-1 I	レポート		50%	F	<b></b> 龙績評価	出席率80%以上 S90~100 A80~89 B7	0~79 (60~69
		合計		100%	).	<b>火州東町   川</b>	D59以下は不合格	0-19 000 -09
P/R/A/0	G割合	P《課題解決型学習≫25% R≪等	実働実践型学習≫25% A	A≪主体的参加	11型学習	l≫25% G≪海	5外体感型学習≫25%	
講師コフィー		経営学の知識は社会に出てから	必ず必要とされます。一糸	渚に学習しま	しょう。			

<u> </u>										
科目名		総合講座 II 担			. 当 君	<b>全</b>	宮坂 友造			
学 科		- 1		授業力	法	講義				
認定單開講学		4単位 2学年	開講期 必・選				授業時間数	72時間		
授業目	目的	この講義は中央大学通信教育部の単位取得を目指し学習する授業と 法各論となります。これらの科目についての基礎知識、また単位取得の				なります。対象科目は、民法1(総則)、民法2(物権)、民法5(親族・相続)、刑 のために必要なレポート作成の仕方を習得することを目的とします。				
授業 (ラーニ アウトカ・	ング	第一の目標は中央大学の単位取得となります。また、その過程で法的知識の習得、法の解釈の仕方、事例問題の解決力等を身につけることも目標 とします。								
授業概要		民法1,民法2、民法5、刑法各論のレポート課題につき、論点の正確な把握、論文の構成の仕方、また関連する判例の読み方を学んでいきます。								
		授業内容					授業内容			
	1	オリエンテーション①			19	刑法各論第2課題の解説②				
	2	オリエンテーション②			20	民法1第3課題の解説①				
	3	オリエンテーション③			21	民法1第3課題の解説②				
	4	民法1第4課題の解説①			22	民法1第1課題の解説①				
	5	民法1第4課題の解説②			23	民法1第1課題の解説②				
	6	民法1第2課題の解説①			24	民法2第3課題の解説①				
	7	民法1第2課題の解説②			25	民法2第3課題の解説②				
授	8	民法2第1課題の解説①			26	民法2第4課題の解説①				
業計	9	民法2第1課題の解説②			27	民法2第4課題の解説②				
画 表	10	民法2第2課題の解説①			28	民法5第3課題の解説①				
	11	民法2第2課題の解説②			29	民法5第3課題の解説②				
	12	民法5第1課題の解説①			30	民法5第4課題の解説				
	13	民法5第1課題の解説②			31	刑法各論第3課	刑法各論第3課題の解説①			
	14	民法5第2課題の解説①			32	刑法各論第3課題の解説②				
	15	民法5第2課題の解説②			33	刑法各論第4課題の解説				
	16	刑法各論第1課題の解説①			34	まとめ①				
	17	刑法各論第1課題の解説②			35	まとめ②				
	18	刑法各論第2課題の解説①			36	まとめ③				
		テスト 0%			半	翌FB卡注	前期, 後期改建主学	<del>/.\</del>		
成績割合		学習態度·出席率 30%			学習FB方法		前期・後期成績表送付			
		レポート 70%			成績評価		出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点			
		合計 100%								
P/R/A/G割合		P《課題解決型学習》100% R《実働実践型学習》30% A《主体的参加型学習》30% G《海外体感型学習》5%								
講師プロ フィール		中央大学通信教育部インストラクター 行政書士試験合格、専門学校・大学で15年以上の講師歴あり								

科目名		総合講座Ⅱ 担			. 当 和	<b>当</b> 名	原祥		
学 科		4			授業力		講義		
認定単位開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	選択			授業時間数	72時間	
授業目的		日大英文学科の所定の科目を修得する。教員のサポートを受けながら、				レポートを作成し、科目修得試験合格を目指す。			
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		以下の日天科目に合格する。 1. 英語 I(2単位) 2. 英語音声学(4単位)							
授業概要		2 英立法(A単位)  教科書の理解、レポート課題作成、科目修得試験対策、定期試験							
		授業内容				授業内容			
	1	英語Iレポート課題			19	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題2			
	2	英語Iレポート課題			20	英文法レポート課題2			
	3	英語Iレポート課題、英語I試験対策			21	英文法レポート課題2			
	4	英語 1 試験対策、英語音声学:調音器官、単音について			22	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
	5	休講(みどりの村)			23	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
	6	英語 [ 試験対策、英語音声学: 母音・子音			24	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
	7	英語 I 試験対策、英語音声学: 母音·子音			25	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
授	8	英語 I 試験対策、英語音声学: 母音·子音			26	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
業計	9	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1			27	英文法科目修得試験対策、英語文学概説			
画 表	10	英語音声学:語アクセント・句アクセント・文アクセント・リズム、レポート課題1			28	英語文学概説レポート課題1			
	11	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート 課題1			29	英語文学概説レポート課題1			
	12	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート 課題2			30	英語文学概説レポート課題2			
	13	英語音声学:音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート 課題2			31	英語文学概説レポート課題2			
	14	英語音声学: 音調群・核音調の種類・用法、特殊なイントネーション、レポート 課題2			32	スピーチコミュケ	スピーチコミュケーションレポート課題		
	15	英語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1			33	英作文レポート課題			
	16	英語音声学科目修得試験対策、英	語音声学科目修得試験対策、英文法レポート課題1			まとめ	まとめ		
	17	英語音声学科目修得試験対策、英	文法レポート課題1			後期期末試験	末試験		
	18	前期期末試験			36	試験返却	<b>Z</b> 却		
成績割合		テスト 20%			学習FB方法		口頭		
		学習態度·出席率 10%							
		レポート	70%			<b></b>	  小テスト、定期試験(前期・後期)、平常点、レポート提出		
		合計 100%							
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫60% R≪実働実践型学習≫40% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体感型学習≫100%							
講師プロ フィール									

<u></u> シラバス									
科目名		総合講座Ⅱ 担			当者	<b>全</b>	月本直子		
学 科		1		受業力	法	<b>洋</b> 法 講義			
認定単位		4単位 開講期				授業時間数	72時間		
開講学年		2学年 必・選 選択			の由に	32 312 7 114 31			
授業目	目的	「国文学史 I 」では日本文学史に特徴的な構造を理解し、歴史の流れの中における文学の位置づけを理解する。「国語学概論」では日本語学の多彩な研究領域及びそのその周辺領域に関する知識を身に付ける。「国文学史 II 」では日本の近現代文学史の流れについて学び、主たる作家文学史的意味付けを理解する。							
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		日本大学通信教育部における「国文学史 I 」「国語学概論」「国文学史 II 」の三科目に関するリポート課題の合格及び科目修得試験の合格を見るめる力を付ける。							
授業概要		いずれの科目も講義形式を中心として行う。理解の助けとして教科書内容に即したプリントを適宜使用しつつ力を付けていく。また、科目ごとに約 2000字のリポート二編が課題となっているので、それらを作成するため筋道を立てて文章をまとめる技術も習得する。							
		授業内容					授業内容		
	1	講義概要説明			19	国語学概論「ご	論「文章と文体」		
	2	国文学史 I 「日記と随筆」			20	国語学概論「敬			
	3	国文学史 I リポート作成			21	国語学概論「日	概論「日本語教育」		
	4	国文学史 I 和歌			22	国語学概論「心	学概論 「心理言語学」		
	5	国文学史 I リポート作成			23	リポート作成	<del></del>		
	6	国文学史 I 上代の文学概観			24	国文学史Ⅱ「つ	Ⅱ 「文明開化と『文学』の変容」		
	7	国文学史 I 「上代の文学 神話・伝説・説話」			25	国文学史Ⅱ「月	国文学史Ⅱ 「明治中期の小説」		
授	8	国文学史 I 中古の文学概観			26	国文学史Ⅱ「[	自然主義文学」		
業計	9	国文学史 I 「中古の文学 物語の発生と展開」			27	国文学史Ⅱ 「漱石と鷗外」			
画 表	10	国文学史 I 「中古の文学 説話集と歴史物語」			28	国文学史Ⅱ「耳	<b>沈美派</b> 」		
	11	国文学史 I 中世の文学概観			29	国文学史Ⅱ「白樺派」			
	12	国文学史 I 「中世の文学 和歌」			30	国文学史Ⅱ「『	国文学史Ⅱ「『新思潮』と大正期教養主義」		
	13	国語学概論 概要説明			31	国文学史Ⅱ「こ	文学史Ⅱ「プロレタリア文学」		
	14	国語学概論「音声と音韻」			32	国文学史Ⅱ 「新感覚派」			
	15	国語学概論「音声と音韻」			33	国文学史Ⅱ「単	国文学史Ⅱ「戦後文学」		
	16	リポート作成に向けて			34	まとめ			
	17	国語学概論「意味」			35	まとめ			
	18	国語学概論「意味」			36	まとめ			
成績割合		テスト 70%			学習FB方法		答案返却時に解説をする。		
		学習態度•出席率		30%					
		レポート 合計 100%			成績評価		出席率80%以上 S 90~100 A 80~89 B 70~79 C 60~69		
P/R/A/G割合		台計							
講師プ	プロ	都内の中高一貫女子校で専任教員及び講師として約40年間国語を担当した経験を持つ。							